堀尾氏関係史料目録

福　井　将　介

1) 編年史料

注・出典覧中の※印を付したものを典拠に作成した。

no	年　号	西暦	文　書　名	発　給　者	受　給　者	内　容	出　典	備　考
1	(天正10)3.13	1582	堀尾吉定書状	吉定(花押)	坪内源太郎、坪内喜太郎	信濃高遠での戦功賞し、15日に備前へ出陣することを伝える	坪内文書(東大史影)。『岐阜県史』資料編古代中世4、坪内文書12号※	(奥切封ウハ書)「堀尾茂介吉定、坪□喜太郎殿　人々御中」
2	天正10.9.9	1582	羽柴秀吉領知宛行状	筑前守秀吉(花押)	堀尾も介	丹波氷上郡内6284石を宛われる	円成寺蔵文書(松江市)。島田成矩『堀尾吉晴』p236※	
3	天正10.11.12	1582	堀尾吉直寄進状	堀尾毛介吉直(花押)	八幡山西坊	田地３段寄進	柏原八幡宮文書　(兵庫県丹波市)。『大日本史料』11-2※	『柏原八幡神社伝来資料目録』に写真あり
4	天正10.11.吉	1582	堀尾吉直寄進状	堀尾毛介吉直(花押)	八幡山西坊	下地1段寄進	柏原八幡宮文書　(兵庫県丹波市)。『大日本史料』11-2※	『柏原八幡神社伝来資料目録』に写真あり
5	天正11.8.朔	1583	羽柴秀吉領知宛行状写	秀吉(花押影)	久徳左近兵衛尉	江州犬上郡多賀荘内において3000石を宛行う。天正13年の吉晴佐和山領有時に久徳分の土地を含む	集古文書(東大史謄)。『新修彦根市史』5、784号※	
6	天正11.8.朔	1583	久徳左近兵衛尉領知目録写	秀吉(花押影)	久徳左近兵衛尉	久徳への江州犬上郡内の知行目録	集古文書(東大史謄)。『新修彦根市史』5、785号※	
7	天正12.3.7	1584	堀尾寺地寄進状	堀尾茂助(花押)	西堂場	屋敷地安堵	西恩寺所蔵文書　(福井県高浜町)。『本堂復興落慶法要記念誌』※	
8	(天正12)3.8	1584	羽柴秀吉書状	筑前守秀吉(花押)	堀尾毛介	来15日の北伊勢出陣支度を命ず	木村文書(島根県大原郡)。『愛知県史』資料編12、790号※	
9	(天正12)3.13	1584	羽柴秀吉書状写	秀吉(花押影)	惟越	秀吉、丹羽長秀へ尾張・畿内の状況を伝える。堀尾吉晴、近江甲賀へ出陣	松雲公採集遺編類纂25(金沢市立図書館蔵)。『岐阜県史』資料編古代中世4、松雲公採集遺編類纂25号※	
10	(天正12)7.6	1584	羽柴秀吉覚書	筑前守秀吉(花押)	美濃守(羽柴長秀)	尾張出陣を8月に延期。吉晴等、陣を固める	八代市立博物館未来の森ミュージアム所蔵文書(熊本県八代市)。『愛知県史』資料編12、586号※	
11	天正12	1584	羽柴秀吉陣立書			堀尾毛介手勢600名	古蹟文徴写(財団法人前田育徳会)。『愛知県史』資料編12、781号※	
12	天正12	1584	羽柴秀吉陣立書			堀尾毛介手勢600名	秋田重季氏蔵文書。『愛知県史』資料編12、784号※	8月頃戦況
13	天正12	1584	羽柴秀吉陣立書			ほりを毛介600名	川路孝蔵氏蔵文書。『愛知県史』資料編12、788号※	長久手合戦直後のものか
14	天正13.閏8.21	1585	堀尾吉晴領知目録	(秀吉花押)	堀尾毛介	近江国内4万石を宛行われる	東京大学史料編纂所蔵文書。『大日本史料』11-19。『新修彦根市史』5、802号※	
15	天正13閏8.22	1585	羽柴秀吉朱印状	(朱印)	堀尾毛介	近江国坂田郡内6505石を蔵入地に繰り入れる	『思文閣古書資料目録』208、平成20年、89号※	
参考	天正13閏8.22	1585	秀吉領知宛行状案	秀吉花押	羽柴孫七郎	秀吉、羽柴秀次へ近江43万石を宛行う。その内23万石は宿老分。	尊経閣文庫蔵。『新修彦根市史』5、803号※	
16	天正14.1.2	1586	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾毛介	毛介へ遣わす片桐加兵衛等の人々へ近江桝で30日分、米40石3斗2升を与えるよう伝える	片桐文書(お茶の水図書館所蔵)。『お茶の水図書館成簣堂文庫武家文書の研究と目録』上、225号※	片桐加兵衛貞隆
17	(天正14)4.23	1586	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	山内対馬守、堀尾帯刀	旭姫祝言につき人夫を差し出す	五藤文書　(東大史影写本)。『新修彦根市史』5、805号※。『愛知県史』資料編12、1094号	
18	天正14.9	1586	聚楽第之図			堀尾帯刀屋敷地がみえる　9月に聚楽第ほぼ完成	広島市立図書館浅野文庫蔵『浅野文庫諸国古城之図』※	江戸時代写
19	(天正14-17)12.25	1586-89	千宗易書状	易(花押)　利休　宗易	堀帯	多忙のため、見舞できず詫びる	『定本利休の手紙』147号※	
20	(天正15)卯.8	1587	木下半助書状	木下半助(花押)	中村式部少輔、山内対馬守、一柳伊豆守、日根野織部、堀尾帯刀、同勘右衛門	羽柴秀次を補佐していた諸将宛に九州での戦況を伝える	阿部直輔蔵(美濃国第十区十二小区加茂郡太田村)。岐阜県『古文書類纂』。日下寛編『豊公遺文』※。	
21	(天正15)11.28	1587	田中吉政書状	田久兵吉政(花押)	堀帯	近江成菩提院所務の大野木年貢引き渡し照会の返事	成菩提院(滋賀県米原市)。「東大史編年文書家分」乾35※	翌日付田中吉政書状から年代推定(同文書)
参考	天正15.11.29	1587	田中吉政書状	田久兵吉政(花押)	柏原成菩提院　御坊中	近江成菩提院領として大野木郷内に21石余を免許	成菩提院(滋賀県米原市)。『改訂近江国坂田郡志』成菩提院文書14号※	
22	(天正頃)卯.6	1586-88	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾二郎介、山内対馬守	若狭の鉄を近江朝妻から美濃大垣まで運ぶことを命ず	御手許文書。『山内家史料』。『新修彦根市史』5、820号※	
23	(天正頃)9.27	1587-88	豊臣秀吉朱印状写	印	山内対馬守、堀尾金助	東山大仏殿の造営材木の運搬を命ず　木下美作・中村式部少輔	中村不能斎採集文書(東大史影写本)。『新修彦根市史』5、807号※	木下一元の美作守任官天正14年11月9日
24	(天正頃)3.13	1588-89	千宗易書状	宗易(花押)	堀帯刀	山内一豊と堀尾吉晴が昨夜宗易を尋ねたことを帰宅して知り、両人へ茶に誘う。	浪花勇次郎氏蔵文書。『定本利休の手紙』212号※	堀尾と山内が帯刀と対馬を用いるのは天正14年4月以降、天正15年九州攻めのため天正16-17年頃か
25	天正16.7.26	1588	天正記			上洛中の毛利輝元、秀次邸の宴に赴く。堀尾帯刀左衛門等御太刀・300疋にて罷出る	毛利文庫蔵。『戦国期毛利史料撰』※	「天正記」別名『輝元公上洛日記』
26	(天正16-17)9.6	1586-88	豊臣秀吉朱印状写	秀吉御朱印	一柳伊豆守	大仏殿の材木を近江柏原まで竹中吉介・源介・稲葉右京等と運搬し堀尾帯刀・山内対馬守らに引き渡す。	一柳家文書。『一柳家史料』3「太閤様御書ノ写」p104※	竹中重門が吉介。同重利が源介。稲葉貞通の右京亮任官(天正16年正月4日公家成)

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
27	(天正17)2.9	1589	豊臣秀吉朱印状写	秀吉御朱印	一柳伊豆守	堀尾帯刀へ命じた天守材木の運搬につき、急ぎ届けるように命じる	一柳家文書。『一柳家史料』3「太閤様御書ノ写」p101※	一柳直末は天正18年の山中城攻めで戦死
28	(天正17)2.13	1589	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾帯刀、 山内対馬守	禁中作事用材木の美濃から近江朝妻への運送を命ず	『改訂近江坂田郡志』山内侯爵家文書。『新修彦根市史』5、811号※	
29	(天正17頃) 6.19	1589	田中吉政書状	田中兵部大輔吉政 (花押)	楞厳院 名主百姓中	楞厳院と小足村の用水争論について楞厳院が領主の佐和山給人(吉晴家臣カ)に訴え堀尾二郎介より小足村の井関を壊すよう折紙が出された。吉政は秀次の意志を受けてその判決を保証した	長浜市宮司東町自治会蔵文書(滋賀県長浜市)。『柳川歴史』3。『秀吉を支えた武将　田中吉政』P39写真版※	(『田中吉政』天正17頃)。田中吉政の兵部大輔任官天正16年3月16日
30	天正17.8.17	1589	豊臣秀次家老連署書状	田中兵部大輔吉政(花押)、渡瀬小次郎良政(花押)、宮部肥前守宗治(花押)、山内対馬守一豊(花押)、堀尾帯刀吉晴(花押)	中野郷　百姓中	中野村井水について秀次の命令を伝える。「一豊公紀」宮部肥前守宗春とある	池野文書(虎姫町中野)。『東浅井郡誌』4　池野文書1号※	『山内家史料』では宮部宗治を宗春とする
31	天正17.8.19	1589	堀尾吉晴書状	堀尾帯刀吉(花押)	岩女かたへ	中野村清介の跡目を保証し娘岩女を盛りたてるように命じる。	清水家文書(虎姫町中野)。『東浅井郡誌』4、清水文書1号※	
32	天正18.閏5.23	1590	落合助右衛門・祐斎連署手形	祐斎(花押)、 落合助右(黒印)　直親(花押)	龍潭寺　納所参	祐斎・落合直親、龍潭寺に物成を納める	龍潭寺文書(浜松市北区引佐町井伊谷)。『静岡県史料』5、引佐郡龍潭寺文書9号※	
33	(天正18)6.21	1590	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	斉村左兵衛尉、別所主水正、加藤遠江守、南条伯耆守、木下備中守、垣屋隠岐守、池田伊与守、亀井武蔵守、大柿留守居中、佐和山留守居中、大津留守居中、民部卿法印	小田原より京都までの町送人足4人を各所に命じる。佐和山は留守居。	小早川家文書。『大日本古文書』。『新修彦根市史』5、816号※	
34	(天正18)7.16	1590	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	別所主水正、加藤遠江守、南条伯耆守、木下備中守、池田伊与守、加藤清左衛門尉、堀尾次郎介、八幡山留守中、新庄駿河守	小田原より京都までの町送りを堀尾次郎介らに命じる。	伊阿弥家文書(東京都板橋区)。『伊阿弥家文書集』。『新修彦根市史』5、817号※	
35	(天正18)8.朔	1590	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾帯刀、 山内対馬	佐竹義重上洛の宿送りを命じる	御手許文書。『山内家史料』。『新修彦根市史』5、819号※	
36	天正18.9.21	1590	豊臣秀次遠州替地目録	秀次(花押)	堀尾帯刀	豊臣秀次、吉晴に遠州の替地としてかつらの郷・もり山・たんば(尾張国海東郡内カ)の996石9斗2升を与える	堀尾文書(お茶の水図書館　成簀堂文庫蔵)※	『国書総目録』堀尾文書
37	天正18.11.29	1590	祐斎・落合助右衛門連署手形	落合助右衛門(花押)、祐斎□(花押)	中村與太夫	中村與太夫に新宿市日升取役を与える	引佐郡　中村文書(浜松市北区細江町)。『静岡県史料』5、引佐郡中村文書6号※	
38	天正18.12.5	1590	落合助右衛門・祐斎連署手形	祐蔵主(花押)、 落助右(花押)	興津左近、 中村與太夫	興津・中村両人へ気賀の内屋敷600坪の年貢を与える。左近屋敷600坪の年貢を免許する	引佐郡　中村文書(浜松市北区細江町)。『静岡県史料』5、引佐郡中村文書7号※	
39	天正18.12.21	1590	増田長盛・長束正家連署書状	長束大蔵大輔正家(花押)、 増田右衛門尉長盛(花押)	堀尾帯刀	遠州の諸寺社、鴨江寺。頭陀寺。安寧寺。中泉・八幡。見付惣社。蒲神立。浜松・叶之坊への訴訟及び寺社領寄進の指示	鴨江寺文書(浜松市中区鴨江町)。『静岡県史』近世1、141号。『静岡県史料』5、鴨江寺文書16号※	
40	天正18頃	1590	虚白録	南化和尚		南化和尚、小田原合戦で陣没した堀尾金助の法号を選ぶ。天正18年頃か	「虚白録」。『橋と塔』P116-117※	
41	天正19.正.2	1591	増田長盛・長束正家連署書状	長束大蔵正家(花押)、増田右衛門尉長盛(花押)	堀尾帯刀	秀吉、遠州の寺社領に関して家康の判形に任せて領主にその引き渡しを命じる。検地ノ上、秀吉の朱印状で引き渡すように伝える	鴨江寺文書(浜松市中区鴨江町)。『静岡県史』近世1、142号。『静岡県史料』5、鴨江寺文書17号※	
42	天正19.2.10	1591	堀尾次郎介塩浜年貢賦課書状	次郎介(花押)	宇部見源太夫	堀尾次郎介、塩浜年貢を定める	浜名郡　中村文書(浜松市西区雄踏町)。『静岡県史』近世2－10号※。『静岡県史料』　浜名郡　中村文書16号	
43	天正19.2.24	1591	堀尾賀門証文写	堀尾賀門	大工新三郎	城での大工役を勤めるにあたり百姓並の諸役を免除すること。『掛川誌稿』に収録された大工村の大工茂左衛門所蔵の証文写。	『掛川誌稿』巻7(静岡県立図書館蔵)。中村育男翻刻『掛川誌稿　全翻刻』※	『掛川誌稿』では賀門を堀尾六左衛門尉宗光と考証
44	天正19.3.4	1591	時慶記	西洞院時慶		白川雅朝と中山親綱との話に「御神楽申沙汰有、堀尾漢介卜云々、」とあり	本願寺蔵。時慶記研究会『時慶記』1※	
45	天正19.4.5	1591	引佐郡龍潭寺領指出	龍潭寺納所玄梁(カ)(花押)	奥田十郎兵衛尉	龍潭寺より堀尾氏へ提出された寺領指出	龍潭寺文書(浜松市北区引佐町)。『静岡県史』近世2、1号※	
46	天正19.卯.10	1591	普傳斎壽鳳手形	普傳斎壽鳳(花押)	閑阿彌入道、 米屋彌二郎	見付問屋を閑阿彌入道・米屋彌二郎に申し付ける。普傳斎壽鳳は見付の代官カ	成瀬文書(神奈川県横須賀市)。『静岡県史料』5、成瀬文書6※	
47	天正19.5.18	1591	落合助右衛門・祐斎連署手形	祐蔵主(花押)・落助右(花押)	気賀村市ば之與太夫かたへ	気賀村坪屋敷永荒地の年貢について	引佐郡　中村文書　(浜松市北区細江町)。『静岡県史料』5、引佐郡　中村文書8号※	
48	(天正19)6.21	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久介	家康より清洲へ送る御墨付1と浅野弾正の折紙2を吉田への送付について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
49	(天正19)8.9	1591	豊臣秀次判物　折紙	秀次(花押)	津軽右京亮	豊臣秀次、津軽為信へ津軽仕置に蒲生氏郷・堀尾吉晴等の派遣を伝える	津軽家文書(国文学研究史料館蔵)。『青森県史』近世1、101号文書※	
50	(天正19)8.11	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	中納言様(秀次)への朱印状の遣送につき掛川の山内家家臣へ書状を送る	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
参考	天正19.9.朔	1591	貞享元年書上	南部大膳大夫	阿部豊後守、 堀田下総守	姉帯大学、堀尾家臣熊谷某を討ち取る。堀尾勢も姉帯勢を多く討ち取るという。日付は浅野家文書による。近世の編纂物であるが九戸城以外での堀尾勢の動きがわかる。	盛岡南部家文書(岩手県盛岡市盛岡市中央公民館蔵)。『青森県史』中世1、688号※	『寛政重修諸家譜』南部大膳大夫にもほぼ同様の記載。
51	天正19.9.6	1591	浅野長吉外三名連署書下	浅野弾正少弼(花押)、堀尾帯刀亮(花押)、井伊兵部少輔(花押)、羽柴忠三郎(花押)		浅野長吉・堀尾吉晴等百姓・地下人の還住を命じる。『御当家御記録』『信直記』『九戸記』『武徳編年集成』に引用	盛岡南部家文書(岩手県盛岡市盛岡市中央公民館蔵)。『青森県史』中世1、537号※	
52	(天正19)9.10	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	中納言様(秀次)・江戸大納言様(家康)への朱印状の箱の遣送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
53	(天正19)9.11	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	京都より陣中へ送る文書箱と吉田久左衛門尉の添状一通の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
54	(天正19)9.11	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久介	陣中へ送る朱印状の箱(油紙で包まれたもの)の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
55	(天正19)9.14	1591	浅野長吉書状(浅野長政書状)	浅野弾正少弼長吉花押	長束大蔵大輔	九戸での戦況と堀尾吉晴が秀次付の軍目付として九戸攻めに従軍する	『豊公遺文』※	「浅野家文書」と同文か
56	(天正19)9.14	1591	浅野長吉書状写(浅野長政書状写)	浅野弾正少弼長吉御判	長束大蔵大輔	「豊公遺文」収録の案文か。同一の可能性もある	『大日本古文書　浅野家文書』61号※。『青森県史』近世1、109号	
57	(天正19)9.16	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久介	中納言(秀次)様へ送る朱印状の箱一つ「うハむしろ」に包むの遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
58	(天正19)9.20	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	朱印状の箱1の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
59	(天正19)9.27	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	朱印状と大政所様の書状、「うわむしろ」包みの箱1、「うへわあまかみ」包みの御文1の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
60	(天正19.9-10頃か)	1591	豊臣秀吉感状写	秀吉(御判)	堀尾　帯刀	秀吉、九戸攻めの吉晴の戦功を祝す	『譜牒餘録』(国立公文書館所蔵)※。『太閤記』。『円成寺所蔵文書』(松江市)	月日欠。10月5日付井伊直政宛豊臣秀吉朱印状から9月-10月に出されたと推測
参考	(天正19)10.5	1591	豊臣秀吉朱印状　(折紙)	(朱印)	井伊侍従	秀吉、九戸攻めの井伊直政の戦功を祝す	彦根市博物館蔵。『青森県史』近世1、112号※	
61	(天正19)10.3	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	中納言(秀次)様への朱印状箱1「あまかみ」に包みまきふうを付の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
62	(天正19)10.8	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	中納言(秀次)様への朱印状箱1「油紙」に包み「うへわ封」を付の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
63	(天正19)10.15	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	京都より中納言(秀次)様へ御書の文箱1「あま紙に入れ封」の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
64	(天正19)10.21	1591	堀尾泰勝書状	堀尾次郎介泰勝(花押)	野久助	帰陣を命じる朱印状箱一つと吉田久左衛門尉・西尾與三右衛門殿の添状の遷送について	土佐山内家宝物資料館蔵。相田二郎著『中世の関所』※	
65	天正19.12.20	1591	年貢銭請取状	丹彦兵衛、山半右(花押)	(志のわらノ　万太郎)	篠原の万太郎、年貢銭3貫文を納入する	渡辺忠男家文書(浜松市天竜区春野町篠原)。『春野町史』　資料編1、460号※	
66	天正20.正.11	1592	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾帯刀	伊勢國鈴鹿郡内に2000石3斗の領知を認める	『思文閣古書資料目録』208、平成20年、90号※	
67	天正20.正.19	1592	堀尾宗光寺領寄進状写	堀尾六左衛門尉宗光　書判	秋葉寺別当坊光達	びた銭15貫を寄進する	児玉恒夫氏所蔵(久保田)。『春野町史』資料編2、589号※。諸州古文書廿三(国立公文書館所蔵)。『静岡県史』近世1、143号。『静岡県史料』4、秋葉寺文書2号	児玉恒夫蔵文書と諸州古文書では字句の異同あり
68	(天正19-慶長4)月日未詳		孝蔵主消息	孝そう主	ほりほ　たて　わき(堀尾　帯刀)	年月日が欠。浜松在城のころカ。堀尾吉晴へ鴨江寺同白山二諦坊領朱印地に昨年よりの物成を支給することを伝える	鴨江寺文書(浜松市鴨江町)。『静岡県史料』5、鴨江寺文書19号※	
69	天正20.6	1592	御人数備之次第	秀次		秀次、秀吉渡海の防備を定める。一番備堀尾帯刀允3083人	『武家事紀』巻31(『山鹿素行全集』、底本　松浦家所蔵本)※。『尊経閣古文書纂』34	軍法も定める
70	天正20.10.4	1592	言経卿記	山科言経		吉晴、聚楽第の秀次朝滾に陪席する	『大日本古記録　言経卿記』5※	堀尾帯刀助
71	天正20.10.7	1592	言経卿記	山科言経		秀次、吉晴邸に臨む	『大日本古記録　言経卿記』5※	堀尾帯刀助
72	(天正20)10.10	1592	豊臣秀吉朱印状　(継紙)	(朱印)	関白殿	豊臣秀吉、関白秀次へ24箇条の覚書で指示する。九鬼氏の絵図を基に安宅船の建造を堀尾等に命じる。刀狩りで得た鉄の造船への転用と方向寺大仏普請の中止を命ず。	京都妙法院蔵。『青森県史』近世1、131号※	※秀次の関白就任天正19年12月。この文書を受け堀尾氏への造船の指示が命じられたと推測される。
参考	(天正20)10.10	1592	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	木食上人	朝鮮出兵用の造船のため大仏殿の造営を中止することを命じる	高野山文書「続宝簡集」御朱印巻。『大日本古文書　高野山文書』2、続宝簡集38-354号※。『史料稿本』	『史料綜覧』、天正19年10月10日条に入る
73	(天正20)11.23	1592	豊臣秀次朱印状	(朱印)	堀尾帯刀、一柳監物丞	船作事のこと。長さ19間・横6間の船を用意することを命じる。	酒井家家臣所持文書(東京大学史料編纂所蔵)。『史料編纂所紀要』7、酒井家家臣所持文書1号※	『山内家史料』では天正19年に造船があったとする。
74	(文禄元)極.22	1592	豊臣秀吉朱印状写	朱印	堀尾帯刀	秀吉の年暮の祝儀の返事、大船のこと(造船)精を入れ、油断せぬよう取りはからうように命じ、木下半助より伝えるとしている	佐草平安氏蔵文書(島根県古代文化センター寄託)。『島根県古代文化センター調査研究報告』24、佐草文書252号※	(社家所蔵古文書写・佐草家)天正20・10・10豊臣秀吉朱印状との関わりから天正20年と推定した。
75	文禄元.12.26	1592	年貢銭請取状	丹彦兵衛(花押)、山半右衛門(花押)	(志のわらノ　万太郎)	篠原の万太郎、年貢銭3貫文を納入する	渡辺忠男家文書(浜松市天竜区春野町篠原)。『春野町史』資料編1、461号※	
76	(文禄2)2.27	1592	豊臣秀吉朱印状	(朱印)	堀尾帯刀	手前造りの大安宅船二艘竣工に就き、順風次第差し下す旨を命じる内容。(溝江文書目録に見える)	溝江文書(お茶の水図書館　成簀堂文庫蔵)。『成簀堂古文書目録』※	
77	文禄2.卯.20	1593	堀尾吉晴制札(木札)	吉晴(花押)	(ふさい寺并せいらんゐん)	吉晴、普済寺と西来院の竹木伐採を禁ずる	普済寺文書(浜松市中区広沢町)。『静岡県史』近世1、144号。『静岡県史料』5、普済寺文書7号※	
78	文禄2.6.17	1593	浅井五郎右衛門手形	浅井五郎右衛門尉久(花押)	中村與太夫	新宿市日升取諸事之儀、祐斎・助右の認めたとおり安堵する	引佐郡　中村文書(浜松市北区細江町)。『静岡県史料』5、引佐郡　中村文書9号※	
79	(文禄2)7.12	1593	豊臣秀吉朱印状写	秀吉御朱印	一柳監物	秀吉、一柳直盛へ堀尾と協力して建造した大安宅船の出来を賞す	一柳家文書。『一柳家史料』3「太閤様御書ノ写」p118※	「大安宅之儀被仰出候処、堀尾申談作之、晶々丈夫ニ見事出来候」
80	文禄2.9.11	1593	堀尾泰勝社領寄進状	堀尾次郎介(黒印)	かんぬし　たまのき虎蔵	遠州長上郡蒲之内、上飯田村稲荷社の神領、上田壱反を寄進する	浜名郡　稲荷神社文書　(浜松市南区上飯田町)。『静岡県史』近世1、145号。『静岡県史料』5稲荷神社文書3号※	
81	(文禄2.3頃)9.21	1593-94	前田玄以等四名連署書状	民部卿法印(花押)、山内対馬守(花押)、堀尾帯刀(花押)、中村式部少輔(花押)	伊藤加賀守	摂津おふち村と下おふち村の用水争論に対し関係者を上洛させるよう命じる	南部文書(滋賀県)(東史影)。※「吉晴花押」『大日本史料』12-11※。	史料編纂所では天正19年に比定。

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
82	文禄2.閏9.21	1593	木下半助書状写	木下半助	壽命院	秀吉、諸侯を伏見に招いて茶会を行う。23日の四番目堀尾帯刀。堀尾帯刀請取の御殿について	「駒井日記」『改定史籍集覧』25※	伏見築城はこの後本格化する
83	文禄2.閏9.24	1593	駒井日記	駒井重勝		25日、晩に秀吉伏見の堀尾吉晴邸に御成の予定のこと	「駒井日記」『改定史籍集覧』25※	
84	文禄3.正.20	1594	駒井日記	駒井重勝		前田玄以からの19日付書状に大坂城総構の普請を関白様御家来衆に命じる。堀尾吉晴は大仏かかりも命じられている	『駒井日記』。『新修大阪市史』史料編5、2-1-30号※。『改定史籍集覧』25	
85	文禄3.2.5	1594	姓未詳朝左衛門・少斎連署手形	少斎（花押）、朝左衛門（花押）	高園彦次郎	高園の彦次郎の居屋敷七畝その他屋敷壱反三畝を扶助する	岩品文書　（浜松市浜北区）。『静岡県史料』5、岩品文書　2号※	
86	文禄3.8.21	1594	伏見大光明寺勧進帳（巻子、モト冊子）	山中山城守（花押）、有馬刑部卿法印（花押）、右楽斎（花押）		堀尾帯刀20石寄進する。花押あり。諸侯102名（1名重複）の名簿書立	相国寺本坊文書。『相国寺蔵　西笑和尚文案』相国寺本坊文書39号※。『新修徳川家康文書の研究』2、P214-223	
87	文禄3.9.21	1594	豊臣秀吉知行目録	（朱印）	堀尾帯刀	伊勢國鈴鹿郡内に2000石の領知を認める。文禄の検地による知行目録	亀山市歴史博物館蔵。「第７回テーマ展示　亀山と天下人」小図録写真※	
88	文禄4・正・15	1595	高麗国出陣人数帳			朝鮮出兵計画が出される。高麗之城々留守居として堀尾帯刀は1000名を動員する	『大日本古文書　島津家文書』2、957号※	
89	文禄4.卯.3	1595	某正鶴問屋定書	正鶴（花押）	米屋	正鶴、見付の問屋定書を出す	成瀬文書（神奈川県横須賀市）。『静岡県史料』5、成瀬文書7号※	
90	文禄4.卯.15	1595	閑阿彌・米屋連署書状案	かんあみ、米屋	御正鶴	問屋について役を受けることを正鶴へ申し出る	成瀬文書（神奈川県横須賀市）。『静岡県史料』5、成瀬文書8号※	
91	（文禄4慶長2）卯.21	1595-97	毛利輝元書状	輝元（花押）	（堀帯刀）	雨中見舞いとして酒樽を贈る。文禄4年正月6日に輝元は権中納言任官『お湯殿の上の日記』	徳山毛利家文書（徳山市市立美術博物館蔵）。『山口県史　中世』2　徳山毛利家文書1号※	（モト端裏捻封ウワ書）「（墨引）堀帯刀殿御宿所　芸中　輝元」『山口県史』文禄4-慶長2と推定。
92	文禄4.7.吉	1595	柏原八幡神社縁起	澄雲（花押）		澄雲法印の撰。天正10年焼失した社殿を堀尾吉晴が社の由緒を尋ね秀吉の祈願所として復興した経緯について	氷上郡柏原町　八幡神社蔵（丹波市）『兵庫県史』中世4、柏原八幡神社1号※	「堀尾ノモ介」
93	文禄4.8.27	1595	燈明田等寄進申状案			丹波氷上郡柏原八幡神社の燈明田等の寄進を堀尾吉晴等が行ったとする内容の申状案	氷上郡柏原町　八幡神社所蔵（丹波市）。『兵庫県史』中世3、柏原八幡宮文書22号※	
94	（文禄４）9.9	1595	徳川秀忠書状	御名（花押）	堀尾帯刀	今度祝言に就き、太刀一腰・馬代銀拾枚・袷二重などの御礼を大久保相模守より詳しく述べる。文禄４年９月に浅井江との婚礼の時カ。	『黄薇古簡集』巻5、城府5。上泉又平蔵。『岡山県地方史資料叢書』8※	（岡山城下「備藩国臣古証文」で校訂）（追筆）「台徳廟御書」
95	(文禄4)11.7	1595	山中之□川上御検地帳	落合孫左衛門、石田助左衛門、外山弥七郎、森田次左衛門、大野忠右衛門		遠州豊田郡内	山田家文書（浜松市天竜区佐久間町浦川　山田保夫氏蔵）。『佐久間町史』史料編3下、山田家文書71号※	
96	(文禄4)11.10	1595	うら川之内吉沢村御検地帳	落合孫左衛門、石田助左衛門、外山弥七郎、森田次左衛門、大野忠右衛門		遠州豊田郡内	山田家文書（浜松市天竜区佐久間町浦川　山田保夫氏蔵）。『佐久間町史』史料編3下、山田家文書72号※	
97	（文禄4）	1595	豊田郡内検地帳断簡カ			遠州豊田郡内[　　]、かつさき	佐久間町　山田家文書　『静岡県史』　近世2、解説より	
98	（文禄4）	1595	豊田郡内検地帳断簡カ			遠州豊田郡内嶋中村、早瀬村	佐久間町　山田家文書　『静岡県史』　近世2、解説より	
99	（文禄4）	1595	豊田郡内検地帳断簡カ			遠州豊田郡内中ノ村	佐久間町　山田家文書　『静岡県史』　近世2、解説より	
100	（文禄4）	1595	豊田郡内検地帳断簡カ			遠州豊田郡内おだか村、地八村、わさま村	佐久間町　山田家文書　『静岡県史』　近世2、解説より	
101	文禄4頃	1595	伏見普請役之帳			11万2000石、堀尾帯刀。伏見城築城の普請役についてであるが、文禄4年秀次失脚後の状況を示したものか	史籍雑纂『当代記・駿府記』巻2※。	
102	文禄5.5.17	1596	吉右衛門公方役鍛冶炭手形写	吉右印	堀谷村百姓中	「堀尾帯刀様御代」、鍛冶炭が公方役として課される	浜北市　堀谷区蔵（浜松市浜北区）。『静岡県史』近世2、11号※	
103	文禄5.菊.2	1596	平尾稲荷宮棟札銘	願主　二郎右衛門		二郎右衛門、願主として平尾に稲荷宮を再興し棟札を奉納する。地頭堀尾六左衛門殿、代官衆丹羽彦兵衛・山口半右衛門	堀之内熱田神社蔵（浜松市天竜区春野町）。『春野町史』資料編1、462号※	
104	文禄5.霜	1596	当宮棟札銘	願主　源馬		源馬、願主として宮を再興し棟札を奉納する。地頭堀尾六左衛門殿・代官衆丹羽彦兵衛・山口半右衛門	堀之内熱田神社蔵（浜松市天竜区春野町）。『春野町史』資料編1、463号※	
105	慶長元.10	1596	名寄帳			遠州豊田郡内	山田家文書（浜松市天竜区佐久間町浦川）。『佐久間町史』史料編3下、山田家文書1号※	
106	慶長2.4.22	1596	日用集　三	西笑承兌		西笑承兌、増田長盛へ使者へ赴く飯有り、堀尾帯刀・藤堂佐渡守と相会す	「日用集」『大日本史料』12-5※	慶長12年12月27日条
107	慶長２.６.15	1597	豊臣秀吉朱印状	（朱印）		方広寺大仏殿を再興にあたり善光寺如来の京都への輸送を命じる。堀尾吉晴は、浜松より吉田迄担当する。「武家事紀」では違う区間を記す。	甲斐善光寺文書。『山梨県史』資料編8、山梨近世１－295号※。『秀吉を支えた武将　田中吉政』写真	
108	（慶長3）正・4	1598	浅野幸長書状案	浅野左京	堀尾帯刀	蔚山城の戦いにおける戦況を堀尾吉晴他の諸将へ伝える。 堀尾吉晴宛	浅野家文書。『浅野幸長蔚山籠城後書状案紙』『大日本古文書　浅野家文書』257号※	
109	（慶長3）正・4	1598	浅野幸長書状案	浅野左京	堀尾信濃	同上。 堀尾忠氏宛	浅野家文書。『浅野幸長蔚山籠城後書状案紙』『大日本古文書　浅野家文書』257号※	
110	慶長3.極.20	1598	孫左衛門外夫役鍛冶炭手形写	彦兵衛印、加斉印、孫左衛門印	堀谷村百姓中	「堀尾信濃守様御代」鍛冶炭が夫役として課される	浜北市　堀谷区蔵（浜松市浜北区）。『静岡県史』近世2、12号※	
111	慶長3頃	1598	伏見桃山御殿太閤摂政関白太政大臣正一位豊臣朝臣秀吉公御城並大小名御屋鋪之図			堀尾吉晴伏見に屋敷を構える（福岡市博物館蔵）	福岡市博物館蔵。『青森県史』近世1、240号※	江戸中期写
参考	慶長3	1598	掛川誌稿巻9（領家村　権現）			慶長3年の棟札に御地頭堀尾掃部殿、代官丹羽吉兵衛の記述あり	『掛川誌稿』巻9（静岡県立図書館蔵）。中村育男翻刻『掛川誌稿　全翻刻』※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
112	慶長3頃	1598	伏見城図			「伏見桃山御殿太閤摂政関白太政大臣正一位豊臣朝臣秀吉公御城並大小名御屋鋪之図」とは屋敷割に差異がある	愛知県西尾市岩瀬文庫蔵。『秀吉を支えた武将田中吉政』※	江戸時代写
113	(慶長4以前)2.15		増田長盛・長束正家・石田三成・前田玄以連署書状	増右長盛、長大正家、石治三成、徳善玄以	堀尾帯刀	百姓に田畑を捨て日雇いになることを禁じる	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵)。『成簣堂文庫古文書目録』による※	元折紙。軸装。
114	慶長4.2.18	1599	慶長己亥二月十八日御行列次第			堀尾帯刀先生、豊臣秀吉の葬儀に参列する	「慶長己亥二月十八日御行列次第」。『山内家史料　一豊公紀』※	
115	(慶長4以前)2.晦		長束正家・増田長盛連署書状	長大正家、増右長盛	堀帯	蝋燭の進上を催促する	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵)。『成簣堂文庫古文書目録』による※	元折紙。軸装。
116	慶長4.3.朔	1599	井伊直政起請文写	井伊兵部少輔直政	堀尾帯刀	慶長4年2月25日の家康と4大老・5奉行の和解に吉晴が尽力したことについて	「慶長治乱記」『関ヶ原合戦史料集』※	『譜牒餘録』・「堀尾家由緒書」所収の起請文月日欠とは異同あり。
117	(慶長4)後3.26	1599	徳川家康書状	家康(花押)	片桐市正	片桐且元へ大野修理の預かる豊臣代官所の儀についての返答。裁決を浅野・増田・長束へ申渡し委細は吉晴と中村一氏から且元へ説明する	「長尾文書　備中」『徳川家康文書の研究』中巻P407-408※	
118	慶長4.6.13	1599	豊臣五大老連署知行宛行状写	利長、輝元、景勝、秀家、家康	江原小五郎	江原小五郎へ越前府中方1000石を与える。慶長4年10月に吉晴与力となる	「荒尾文書」、「因幡志」。『徳川家康文書の研究』中巻※	
119	慶長4.6.13	1599	豊臣五大老連署知行宛行状写	利長、輝元、景勝、秀家、家康　御書判	友松忠右衛門	友松忠右衛門へ越前府中方500石を与える。慶長4年10月に吉晴与力となる	「古文書」。「土佐國蠹簡集残篇」。『徳川家康文書の研究』中巻※	
120	(慶長4以前)8.18	1599	徳川秀忠書状写	秀忠	堀信州様	秀忠が忠氏へ忠の一字を与え国俊の刀を送った際の書状	『譜牒餘録』(国立公文書館蔵)※	
121	慶長4.8	1599	御縄打水帳田畠、下すがり村	丹羽彦兵衛(印)		遠州下すがり村	小木家文書(浜松市天竜区横川)。『天竜市史』資料編2、小木家文書1号※	
122	(慶長4)ころ	1599	(前欠)(検地帳)	丹羽彦兵衛		遠州	天竜市　大石家文書　『静岡県史』近世2解説より	
123	慶長4.9.2	1599	慶長四年九月　平木村・篠原村検地帳	山口半右衛門(黒印)(花押)		遠州周智郡　平木村・篠原村	春野町役場蔵文書(現浜松市天竜区)。『春野町史』史料編2、1号※	
124	慶長4.9.11	1599	遠州豊田郡内御検地名寄之帳　僧都村　□山村	山口半右衛門(花押)(印)		遠州豊田郡　僧都村	天竜市　鈴木家文書(浜松市天竜区相津)。『静岡県史』近世２、2号※	
125	慶長4.10.朔	1599	三大老連署知行宛行状写	輝元、秀家、家康	堀尾帯刀	吉晴、越前府中留守居と与力の武将を付けられる	「榊原家所蔵文書坤」。『徳川家康文書の研究』中巻P449-450※	
126	慶長4.11.9	1599	妙心寺春光院蔵　堀尾泰晴画像　春龍埜納賛	前住妙心春龍埜納叟書焉		堀尾泰晴、慶長4年11月7日没	妙心寺春光院蔵(京都市)。松江市歴史資料館整備室所蔵写真※	
127	慶長4.11.22	1599	堀尾可晴判物(折紙)	堀尾帯刀可晴(花押)	大滝掃部	奉書紙役を申し付ける	三田村士郎家文書(越前市今立町大滝)。『今立町誌』2、三田村家文書22号※。『福井県史』資料編6、三田村士郎家文書28号	『今立町誌』写真版あり
128	慶長4.11.24	1599	遠州御蔵入地目録	堀尾帯刀(花押)	徳善院、長束大蔵大輔、増田右衛門尉	吉晴、豊臣家奉行へ浜名・井伊谷・河匂庄・宇間郷など1万9555石の物成について報告する	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵)※	『国書総目録』堀尾文書
129	(慶長4以前)12.29	-1599	徳川家康書状	家康(花押)	堀尾帯刀	歳暮の祝儀として小袖一重を給うことの礼と委細は阿部善右衛門(正勝)から伝えること	妙圓寺蔵(愛知県豊橋市)。『徳川家康文書研究』下-2、P284※	阿部正勝、慶長5年4月7日没
130	(慶長4・5)ころ	1599-1600	小俣京村検地帳	山口半右衛門(黒印)(花押)		遠州周智郡　小俣京村	春野町役場蔵文書(浜松市天竜区)　『春野町史』資料編2、2号※	
131	慶長5.3.15	1600	堀尾一信安堵状(折紙)	堀尾宮内丞一信(花押)	成願寺寺庵中	岩本成願寺屋敷を安堵する	成願寺文書(越前市今立町岩本)。『福井県史』資料編6、成願寺文書9号。『今立町誌』資料編2、成願寺文書2号※	『今立町誌』写真版あり
132	慶長5.4.18	1600	吉川貞恒証状(折紙)	吉河新兵衛尉貞恒(花押)	大滝掃部	大滝村の掃部へ忠氏考案の黄紙に取り扱いを認め他者が取り扱う事を堅く停止する。この頃忠氏を名乗っていたことがわかる	三田村文書(越前市今立町大滝)。『今立町誌』資料編2、三田村家文書23号※	『岡本村史』写真版あり　「黄帋の事忠氏公思安トシテ出来ノ旨」
133	(慶長5)4.20	1600	徳川秀忠書状(折紙)	秀忠(花押)	堀信州	江戸の秀忠に送った書状の返書。北国の情勢、上杉景勝の上洛問題について	大阪青山短期大学蔵文書。『新修　徳川家康文書の研究』2、P321※	
134	慶長5.卯	1600	堀尾吉晴定書写	堀尾帯刀吉晴		寺社中の殺生・竹木伐採を禁止し諸役免除を報じる	上坂一夫家文書(越前町織田)。『福井県史』資料編5、上坂一夫家文書23号※	
135	慶長5.卯.吉	1600	堀尾可晴神領寄進状(折紙)	堀尾帯刀可晴(花押)	中平吹神主	平吹権現の祭領として高10石を寄進する	佐治覚右衛門家文書(越前市平吹町)。『福井県史』資料編6、佐治覚右衛門家文書21号※	『武生市史』写真版あり
136	慶長5.5.7	1600	豊臣氏奉行衆連署条書写	長束大蔵大輔、増田右衛門尉、中村式部少輔、生駒雅楽頭、堀尾帯刀		三中老・二奉行連署して家康の会津征討を諫める条書を送る	古今消息集(国立公文書館所蔵)。『日本戦史　関ヶ原文書』※	
137	慶長5.5.7	1600	豊臣氏奉行衆連署条書写	長束大蔵太輔正家、増田右衛門尉長盛、徳善院法印玄以、中村式部少輔一氏、生駒雅楽頭近世、堀尾帯刀吉晴	井伊兵部少輔	豊臣氏の三中老・三奉行、井伊直政へ家康の会津征討を諫める条書を送る。本文内容は同上の「古今消息集」と同内容	「歴代古案」(米沢市市立上杉博物館)。『歴代古案』4、1283号※	前田玄以が発給者に含まれる。
138	(慶長5)5.13	1600	豊臣家三奉行連署書状写	長大正家判、増右長盛判、徳善院玄以判	堀尾信濃守	江戸に赴く前田家家臣へ浜松で八木(米)五石・大豆一石之分を与えること	「加賀古文書」。『加賀藩史料』1※	慶長5年条
139	(慶長5)6.25	1600	豊臣家三奉行連署状	長大正家(花押)、増右長盛(花押)、徳善玄以(花押)	新庄東玉、駒井中務、岡本次兵衛、羽柴左衛門大夫、田中兵部大輔、堀尾信濃守、山内対馬守、中村式部少輔	会津攻めのため東海道を出陣する兼(金)松又四郎正吉への兵糧・馬料の給付を沿道の諸将に命じる。堀尾忠氏は、見付(磐田市)で一日分用意する。	名古屋市秀吉清正記念館蔵　『田中吉政』写真版。『兼松文書抄』※	
140	(慶長5)7.17	1600	豊臣家三奉行連署書状写	長大正家、増正長盛、徳善玄以	堀尾帯刀	家康への弾劾状の添状。堀尾吉晴宛(『武家事紀』所収)の外に、真田昌幸宛、立花親成宛、筑紫広門宛、島津忠恒宛のものがある	「武家事紀」巻35『山鹿素行全集』※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
141	(慶長5)7.17	(1600)	内府ちかひの條々			徳川家康を弾劾する１３カ条の弾劾書。吉晴宛の添書が「武家事紀」に所収されている。吉晴へも送られたと考えられる	『徳川家康文書研究』中巻、P514-516※	
参考	(慶長5) 7.17	1600	豊臣家三奉行連署書状	長大正家(花押)、増右長盛(花押)、徳善玄以(花押)	真田安房守	家康への弾劾状の添状。真田昌幸宛。	真田家文書。『徳川家康文書研究』中巻、P516※	
参考	(慶長5) 7.17	1600	豊臣家二大老連署書状	安芸中納言輝元、備前中納言秀家	羽柴肥前守	家康弾劾状への毛利輝元・宇喜多秀家の二大老により添状。同文の書状が他へも発給されたと思われる。	「武家事紀」。「加能越古文書叢」。『徳川家康文書研究』中巻、P517※	
142	(慶長5)8･2	1600	徳川家康書状写	家康	堀尾帯刀	家康、井伊直政・本多忠勝に吉晴の状態を窺わせ、吉晴へ傷の養生するように伝える。	『譜牒餘録』(国立公文書館内閣文庫蔵)※	
143	(慶長5)8.6	1600	石田三成書状写	石田治部少輔三成判	眞田安房守	石田三成、真田昌幸へ挙兵前後の情報を伝える。水野忠重の殺害と堀尾吉晴の様子・中村一氏病死についてなど事件を吉事のことと評している。	松雲公採集遺編類纂26(金沢市立図書館蔵)。『岐阜県史』資料編古代中世4、松雲公採集遺編類纂26※。「関ヶ原軍記大成」、「古今消息集」『関ヶ原合戦史料集』。	「関ヶ原軍記大成」のものは欠字なし
144	(慶長5)8.8	1600	堀尾吉晴書状写	堀帯刀吉晴(印判写)	田民部	吉晴、田中吉次へ加賀野井重望との乱闘で負傷した際に岡崎で治療を受けたことの御礼を述べる	田中文書(東史膳)※。「田中民部大輔書状写」(慶應義塾大学幸田成友文庫蔵)	『柳川歴史』3では「田中民部大輔書状写」の校訂が優れているとのこと
145	(慶長5)8.13	1600	徳川家康書状写	御諱(家康)	堀尾帯刀	家康、村越直吉に吉晴の様子を窺わせる。	「古文書集　石川主殿頭蔵」『徳川家康文書の研究』中巻　P578-579※	
146	(慶長5)8.13	1600	徳川家康書状写	御諱御判	堀尾信濃守、山内対馬守、有馬玄蕃頭、松下右兵衛尉	家康出陣の事を伝え御心易くするよう、委細は使者の口上で行います	「古文書集」1　有馬中務大輔家蔵　『徳川家康文書の研究』中巻　P576-577※	
147	(慶長5)8.22	1600	井伊直政書状写	井伊兵部少輔直政	本多佐渡守、西尾隠岐守、村越茂介殿	岐阜攻めについての注進	『岐阜県史』資料編古代中世4、伊達文書3号※	
148	(慶長5)8.22	1600	佐々正孝書状	正敲(花押)	秋藤太	佐々正孝が秋田実季へ上方の情勢を伝える。浜松、越前府中について	秋田家史料(東北大学附属図書館蔵)。『青森県史』中世2、780号※	原本所在不明
149	(慶長5)8･24	1600	福島正則書状	羽左衛門大夫正則(花押)	淺彈正	福島正則、浅野長政へ池田・浅野・遠州衆が川越合戦に勝利したこと。昨日岐阜城を落としたことを伝える。	浅野家文書『大日本古文書　浅野家文書』114号※	
150	(慶長5)8.25	1600	徳川家康書状写	権現様　御諱　御判	堀尾信濃守、山内対馬守、有馬玄蕃頭、松下右兵衛尉	岐阜攻めについて賞する	「譜牒餘録」　有馬中務大輔　(国立公文書館蔵)。『徳川家康文書の研究』中巻　P629-630※	
151	(慶長5)8.25	1600	有吉立行･松井康之連署状(折紙)	松井佐渡守□□(花押)、有吉四郎右衛門尉立行(花押)	中修理	細川家家臣松井・有吉、中川秀成へ大谷吉継が越前府中城を攻め留守居が固く守るとの情報を伝える	中川家文書(神戸大学蔵)。『中川家文書』94号※	
参考	(慶長5) 7･8頃	1600	太閤記　武家事紀			堀尾勘解由・堀尾宮内越前府中城の留守居という	『太閤記』巻4、『武家事紀』巻23※	
152	(慶長5)8.26	1600	徳川家康書状写	家康　御判	堀尾信濃守、池田備中守、一柳監物、山内対馬守、有馬玄蕃頭、松下右兵衛尉、浅野左京太夫	岐阜攻めの戦勝を祝す	「譜牒餘録」　松平安藝守、(国立公文書館蔵)　『徳川家康文書の研究』中巻　P632※	
153	(慶長5)8.26	1600	堀尾吉晴書状写	堀帯刀印判	山対州	吉晴岐阜の勝利を賀し、忠氏の事を山内一豊に依嘱する。２３日の一豊書状の返書。	「御武功記」　『山内家史料　一豊公紀』※	
154	(慶長5)8.29	1600	徳川家康書状写	御諱	堀尾信濃守	家康、忠氏よりの勝報と首注文を提出を呈したのでこれを嘉賞する。明9月1日の江戸進発を伝える。	「古文書集」9石川主殿頭蔵　『徳川家康文書の研究』中巻　P653	
155	(慶長5)9.15	1600	慶長年中卜齋記	板坂卜齋		堀尾信濃守は大垣の押さえに置かれた。	『改定史籍集覧』26※	
156	(慶長5.9.17)	1600	吉川広家自筆書状案	(広家)		吉川広家、関ヶ原合戦前後の状況と東軍との和議について吉川家からの人質を堀尾忠氏が預かる。家康本陣までの道案内を堀尾が務めた	吉川家文書『大日本古文書　吉川家文書』2、913号※	
157	(慶長5)9.18	1600	慶長見聞録			徳川家康、平田山の陣を出発する。先陣福島。6番手に堀尾(忠氏勢)	「朝野旧聞裒藁」。『新修彦根市史』5、879号※	
158	(慶長5)10.11	1600	堀尾一信判物	宮内(花押)	大井村「孫右衛門」(異筆)	山林竹木の伐採を禁ずる。	木村孫右衛門家文書(越前市家久町)。『福井県史』資料編6、木村孫右衛門家文書7号※	
159	(慶長5)10.12	1600	西笑和尚文案	(西笑)	徳僧(前田玄以)	西笑承兌、前田玄以の赦免について堀尾吉晴と会談したことを玄以へ伝える	相国寺所蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』220号※	
160	(慶長5カ)10.17	1600	稲垣七左衛門尉書状	稲垣七左衛門尉(花押)	岩本村、不老村、新在家村、貞友村	吉晴の他所へ許可なく紙を売ることを曲事とする命令を稲垣から各村々へ伝える	大滝神社文書(越前市今立町大滝)。『今立町誌』資料編2、大滝神社文書24号※	
161	(慶長5)10.晦	1600	久代景備書状(折紙)	景備(花押)	(見返シ奥ウワ書)大関左衛門	堀尾信濃(忠氏)へ出雲・隠岐が与えられる話を伝える	黒関町芭蕉の館蔵。『那須文化研究』13、「黒羽町所蔵の関ヶ原合戦関係文書について」8号※	(見返シ奥ウワ書)「(切封墨引)久代勘右衛門尉景備、大関左衛門様人々御中」

2) 浜松期(天正18.9～慶長5.11)

162	年未詳.3.17		図書外二名連署状	加兵衛(黒印)、彦兵衛(黒印)、[　]、図書(花押)	うふみ源太郎	大窪場地改めの奉行案内役を命じる	浜名郡　中村文書(浜松市中区雄踏町)。『静岡県史料』5浜名郡　中村文書17号※	
163	年未詳.8.10		長束正家書状写	長束大蔵	堀尾帯刀	四拾六所(津森神社)の所領についての指示	津毛利神社文書(浜松市南区芳川町)。『静岡県史料』5、津毛利神社文書1号※	
164	年未詳.10.5		堀尾吉晴制札(木札)	帯刀(花押)	(ふさい寺)	吉晴普済寺山の竹木伐採を禁ずる	普済寺文書(浜松市中区広沢町)。『静岡県史』近世1、146号。『静岡県史料』5、普済寺文書8号※	

3) 出雲入国（慶長 5. 11 以降）

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
164	慶長5.11.6	1600	堀尾一信証状(折紙)	宮内(花押)	大滝五ヶ村中	紙・銚燭を申し付けるにより三把木を免除する	大滝神社文書(越前市今立町大滝)。『福井県史』資料編6、大滝神社文書25号※	
165	(慶長5カ)霜.24	1600	吉川貞恒証状(折紙)	吉川新兵衛尉貞恒(花押)	掃部	大滝村の月成について、紙を上納するよう指示する	三田村家文書(越前市今立町大滝)。『今立町誌』資料編2、三田村家文書24号※	年代比定『今立町誌』による。
166	(慶長5)12.24	1600	西笑和尚文案	(西笑)	徳善院	西笑承兌、出雲国造千家と堀尾忠氏との間を取り持つことを伝える	相国寺蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』232号※	
167	(慶長6).正.5	1601	申上覚	国造北嶋豊孝(花押)	御奉行中	国造北嶋廣孝より堀尾家の奉行へ杵築大社の火切式など由来を6カ条にわたり申上	千家男爵家文書2(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
168	(慶長6頃)2.13	1601	落合貞親書状	落蔵人(花押)	大庭神主	大庭宮山盗伐禁止について	大庭村神魂神社文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』大庭村神魂神社文書66号。『意宇六社文書』秋上家文書224号※	
169	(慶長6)2.24	1601	岩屋寺寺暦書出	岩屋寺(印)	土肥甫庵公	岩屋寺、堀尾家臣土肥甫庵への寺の由緒・寺領の書出	岩屋寺文書。『旧島根県史編纂史料』。『仁多郡誌』岩屋寺2号※	原本所在不明
170	慶長6.3.27	1601	堀尾忠氏知行宛行状	忠氏(花押)	辻角介	忠氏、辻角介へ所領250石を宛行	山田善次郎蔵文書。『島根県史』8※。『山田家文書』『旧島根県史編纂資料』	大正3年頃静岡県に所在
171	慶長6.3.27	1601	堀尾忠氏知行宛行状	忠氏(花押)	湯淺勘平	忠氏、湯淺勘平に所領を宛行	湯淺文書。(東史影)※。『史料綜覧』。	原本所在不明
172	慶長6.3.27	1601	忠氏知行目録	忠氏	浅井長三郎、黒田三介、上田権右衛門尉、今村介(守カ)、宮(崎カ)新九郎	忠氏、意宇郡湯屋村・意宇郡出雲郷内の地を浅井長三郎他四名に知行地として与える。	蘇美神社文書(愛知県額田郡幸田町蘇美天神社)。(東史影)※	
173	(慶長6カ)3.27	1601	堀尾忠氏知行宛行状写	忠氏　花押	樋口彦助	忠氏、樋口彦助へ370石を宛行	「伯耆志」巻6, 會見郡6。會見郡海池村。『因伯叢書』4※。	「伯耆志」には「元和六年」とある
174	(慶長6カ)3.27	1601	堀尾忠氏知行宛行状写	忠氏　花押	樋口勘八	忠氏、樋口勘八へ200石を宛行	「伯耆志」巻6, 會見郡6。會見郡海池村。『因伯叢書』4※。	「伯耆志」には「元和六年」とある
175	(慶長6).3.27	1601	堀尾忠氏知行宛行状写	忠氏　花押	小杉右衛門佐	忠氏、小杉右衛門佐へ150石を宛行	「伯耆志」巻6, 會見郡6。會見郡海池村。『因伯叢書』4※。	「伯耆志」には年号欠
176	慶長6.卯.10	1601	堀尾家寄進状写	左兵衛尉貞恒[花押]	神宮寺法印豪栄	意宇郡忌部郷大向之内6畝24歩を寄進する	「忌部惣社大宮神宮寺秘事記」忌部神社文書(松江市忌部町)。『山陰一地域の歴史的性格』。『ふるさと忌部史話』※	
177	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	清水寺	能義郡安田村の内百石の地を寄進する(『旧島根県史　編纂資料』は宛名欠。東京大学史料編纂所所蔵「影写本」により宛名を補訂)	清水寺文書(安来市)。『旧島根県史編纂資料』※。(東史影)	「東史影」で宛名を補訂
178	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(富田八幡宮)	能義郡富田八幡領、當庄之内参拾石の地を寄進する	竹矢家文書(安来市広瀬町)。『旧島根県史編纂資料』※	
179	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	落合蔵人頭貞親(花押)、堀尾頼母助正家(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、堀尾掃部助宗光(花押)	(國造北嶋)	神魂新嘗祭田北嶋分49石を寄進する	北島家蔵。『出雲国造家文書』168号※	神魂神社秋上家文書222号に案文あり
180	慶長6.卯.26	1601	堀尾家奉行人連署状案	落合蔵人頭貞親、堀尾頼母助正秀、吉川左兵衛尉貞恒、堀尾掃部助宗光	國造北嶋	神魂新嘗祭田北嶋分49石の寄進状案文	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書222号※	
181	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	落合蔵人頭貞親(花押)、堀尾頼母助正秀(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、堀尾掃部助宗光(花押)	(國造千家)	神魂新嘗祭田千家分47石を寄進する	千家男爵家文書2『旧島根県史編纂資料』※。『史料綜覧』	
182	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	落合蔵人頭貞親(花押)、堀尾頼母助正秀(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、堀尾掃部助宗光(花押)	神魂神主	大庭村の内71石4斗を寄進する	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書221号文書※	
183	慶長6.卯.26	1601	堀尾氏四奉行寺領寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(正林寺)	意宇郡正林寺へ大庭村の内15石の地を寄進する	大庭村正林寺関係文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』大庭村正林寺関係文書1号※	
184	慶長6.卯.26	1601	堀尾氏四奉行寺領寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	乗光寺	意宇郡伊藤之内7石7斗寄進する	意東村乗光寺文書(東出雲町)。『八束郡誌』乗光寺1号※	
185	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	揖屋　別火	意宇郡揖屋村之内40石の地を寄進する	揖屋村揖屋神社文書(東出雲町)『八束郡誌』揖屋神社3号※。『旧島根県史編纂資料』	『八束郡誌』には宛名欠。『旧島根県史編纂資料』で補う
186	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	八幡検校	意宇郡八幡村之内50石の地を寄進する	竹矢村平濱八幡宮文書(松江市竹矢町)。『八束郡誌』平濱八幡宮10号※	
187	慶長6.卯.26	1601	堀尾氏寺領寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	乃木村　善光寺	意宇郡乃木善光寺領として當郷の内8石の地を寄進する	乃木村善光寺文書(松江市浜乃木町)。『八束郡誌』善光寺文書1号※	
188	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	熊野伊勢宮　別火	意宇郡熊野村伊勢宮領へ當郷の内41石の地を寄進する。(6月に24石を修理田として免ぜられる)	熊野神社文書(松江市熊野町)。『意宇六社文書』熊野神社文書9号※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
189	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	八重垣　別火	意宇郡佐草村之内41石の地を寄進する	八重垣神社社家　佐草家文書(松江市佐草町)『意宇六社文書』佐草家文書10号※	
190	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	神主	銀子70匁を寄進する。(美保関町史料では【燈明銭ヵ】とする)	美保関町美保神社文書(松江市美保関町)。『八束郡誌』美保神社文書4号※。『美保関町史料』	
191	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人正貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	一畑寺	一畑寺へ楯縫郡小堺村の内２０石を寄進する	一畑寺文書(出雲市)。『史料綜覧』。『一畑寺古文書関係資料』33号※	
192	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)□□□□貞恒(花押)、□□助宗光(花押)	日御碕　神主	神門郡富村200石を寄進する	日御碕神社蔵文書1『旧島根県史編纂資料』※	
193	慶長６.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)頼母助正秀(花押)左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	杵築　別火	神門郡富村50石を寄進する	別火盛一蔵文書(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
194	慶長6.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(峯寺)	飯石郡峯寺へ三刀屋村内12石の地を寄進する(『島根懸史編纂資料』では普光寺蔵文書として影写)	普光寺(峯寺)蔵文書(雲南市三刀屋町)。『飯石郡誌』。『旧島根県史編纂資料』※	
195	慶長６.卯.26	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒花押)、掃部助宗光(花押)	岩屋寺	岩屋寺へ15石を寄進する	岩屋寺蔵文書『旧島根県史編纂資料』。『仁多郡誌』岩屋寺17号※	
196	慶長6.卯	1601	堀尾忠氏寄進状　(折紙)	信濃守　忠氏(花押)	山田　吉澤太夫	忠氏、伊勢大神宮に神門郡高来村内150石を寄進する。№197の正文	三重県立博物館所蔵文書。『三重県史』資料編中世2、吉沢文書3号※	『高来』は、『馬来カ』。
197	慶長6.卯	1601	堀尾忠氏寄進状写	信濃守　忠氏(花押影)	山田　吉澤太夫	忠氏、伊勢大神宮に神門郡馬木村内150石を寄進する	御巫清直編『神古帖』(吉沢圭水蔵文書)(東史影)※。『鵝声文庫文書』(東史影)。(原本)三重県立博物館所蔵文書。『三重県史』資料編中世2、吉沢文書3号。	『史料綜覧』慶長6年4月26日条
198	(慶長6).5.15	1601	落合貞親下知状	落合蔵人頭貞親(花押)	熊野　別火	熊野社領の内21石を修理田として免田とし17石を祭田とするように伝達する	熊野神社(松江市八雲町)。『意宇六社文書』熊野神社10号※	
199	慶長6.(8).17	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(能義大明神)	能義大明神領として12石寄進する。月の部分欠けているが残存部分から8月と推定。	廣江家文書(安来市)。『旧島根県史編纂資料』※。『島根県史神社資料』に写	
200	慶長6.8.17	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(佐太大社)	佐太大社に島根郡内100石の地を寄進する	佐太村佐太神社文書(松江市鹿島町)。『八束郡誌』佐太神社文書10号※	
201	慶長6.8.17	1601	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光(花押)	(佐太大社)	佐太大社に秋鹿郡内100石の地を寄進する	佐太村佐太神社文書(松江市鹿島町)。『八束郡誌』佐太神社文書11号※	
202	慶長6.8.17	1601	堀尾氏四奉行連署寄進状カ		(住吉神社)	出雲住吉神社へ寄進	『史料綜覧』慶長6.8.17条※	
203	慶長6.8.20	1601	堀尾頼母正秀以下四人連署禁制	掃部(花押)、蔵人(花押)、左兵衛(花押)、頼母(花押)	御奉行衆	神門寺へ禁制を与える	神門寺文書(東史影)。※(出雲市神門寺蔵)	
204	慶長6.8.27	1601	堀尾家寺領寄進状	蔵人頭(花押)、頼母助(花押)、左兵衛尉、掃部助(花押)	封恩寺	報恩寺に居屋敷・門前二カ所、山林・竹木等を寄進する。	玉湯村報恩寺文書(松江市玉湯町)。『八束郡誌』報恩寺文書1号※	(左兵衛尉に花押を載せず)
205	慶長6.9.15	1601	慶長年中卜斎記	板坂卜斎		家康、堀尾吉晴等を召して、関ヶ原の戦いについて談する	『改定史籍集覧』26※	家康・吉晴の在所は伏見か
206	(慶長6).10.3	1601	安国寺禁制	落蔵人(花押)	竹矢役人　源兵衛	慶長６年11月の禁制に関わるものカ	安国寺文書(松江市竹矢町安国寺蔵)。『八束郡誌』竹矢村安国寺文書26号※	
207	慶長6.11.24	1601	堀尾氏禁制	山田勘左衛門(花押)、種村彌吉(花押)	安国寺　侍者	安国寺へ禁制を与える	安国寺文書(松江市竹矢町安国寺蔵)。『八束郡誌』竹矢村安国寺文書27号※	
208	慶長6.閏11.21	1601	堀尾家四奉行連署寄進状写	落合蔵人頭貞親判、堀尾頼母助正秀判、吉川左兵衛尉貞恒判、堀尾掃部宗光判	北嶋惣兵衛尉、佐草左衛門尉	鴛宮領を前々のごとく寄付により全く社務あるべきこと	秋上家文書(松江市大庭町)。『内々書物(冊子)』、『意宇六社文書』秋上家文書468号※	
209	慶長6.12.4	1601	堀尾家三奉行連署奉書	落合蔵人貞親(花押)、堀尾頼母正秀(花押)、堀尾掃部宗光(花押)	千家民部少輔	国造殿より御方への御割分として弐百石と杵築町屋敷三カ所の知行を認める	千家男爵家文書2(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
210	慶長6.□.26	1601	落合蔵人国役御免状	落蔵人　旨親	郡　平左衛門	大庭社官衆一〇人分の国役免除の忠氏の指示を伝える	大庭社神魂神社文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』大庭村神魂神社文書68号※	(慶長６年、八束郡誌による)
211	慶長7.2.4	1602	岩倉寺棟札			雲州隠岐國主在原朝臣堀尾帯刀	岩倉寺(安来市広瀬町)。『島根県史編纂資料』近世筆写編177※	
212	慶長7.2.7	1602	鰐淵寺　定書	堀尾頼母正秀(花押)、落合蔵人貞親(花押)、堀尾掃部宗光(花押)	鰐淵寺　年行事	堀尾氏鰐淵寺の寺式を定める。影写本	鰐淵寺文書(出雲市)。(東史影)※。	
213	慶長７.2.7	1602	鰐淵寺　定書写	堀尾頼母正秀　花押、落合蔵人貞親　花押、堀尾掃部宗春　花押	鰐淵寺　年行事	堀尾氏鰐淵寺の寺式を定める。謄写本	鰐淵寺文書3(出雲市)。『旧島根県史編纂資料』中世筆写編6※	
214	(慶長７)2.22	1602	堀尾頼母助書状	堀尾頼母助正秀(花押)	日御碕村	杵築との土地境界について	小野家文書2(出雲市大社町)『旧島根県史編纂資料』※	日御碕神社関係　年号は別筆(貼紙)と記入
215	慶長７.2.24	1602	堀尾家四奉行連署寄進状	落合蔵人頭貞親(花押)、堀尾頼母助正秀(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、堀尾掃部助宗光(花押)	(日御碕神社)	日御碕神領として神門郡園村に200石を寄進する	日御碕神社文書1(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
216	慶長７.2.24	1602	堀尾家奉行人連署奉書	蔵人(花押)、頼母(花押)、左兵衛(花押)、掃部(花押)	日御碕検校	杵築御崎山海大境の土地境界について堀尾家の指示に従うように命じる	小野男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
217	とらノ２.28	1602	堀尾家安堵状	(黒印)御ほん丸	たかくら	いさなきへ社領17石を安堵する。(黒印)	眞名井神社社家広江家文書(松江市山代町)。『意宇六社文書』広江家文書3号※	日付の下に(黒印)
218	とらノ2.28	1602	堀尾家安堵状	(黒印)御ほん丸	たかくら	工屋六右衛門家屋敷をいさなきたかくらに安堵する	眞名井神社社家広江家文書(松江市山代町)。『意宇六社文書』広江家文書4号※	日付の下に(黒印)
219	慶長７.3.2	1602	堀尾家四奉行寺領寄進状	蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光	安国寺	竹矢村において12石の地を寄進する	竹矢村安国寺文書(松江市竹矢町安国寺蔵)。『八束郡誌』竹矢村安国寺文書28号※	(旨親は貞親。宗光に花押なし)
220	慶長７.3.2	1602	堀尾家四奉行連署寄進状	蔵人頭旨親(花押)、頼母助正秀(花押)、左兵衛尉貞恒(花押)、掃部助宗光	雲樹寺	雲樹寺に乃木郡内(能義郡内)宇賀庄内10石の地を寄進する。(旨親は貞親。宗光に花押なし)	雲樹寺蔵文書(安来市)。『雲樹寺歴史資料調査報告書』写真※。『旧島根県史編纂資料』	
221	慶長７.閏4.15	1602	下方源左衛門書状案	下源左衛門　判	大場　別火	神魂社領の天役を除く	大庭村神魂神社文書秋上家文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』。『意宇六社文書』秋上家文書235号※	
222	慶長7.4.26	1602	堀尾家奉行人連署状	頼母(花押)、蔵人(花押)	神主久右衛門古志宮人		比布智神社文書(島根県立図書館蔵)。春日家文書『島根県史編纂資料』※	
223	(慶長７)壬寅8.9	1602	堀尾家奉行人連署状	頼母　在判、掃部　在判	御検地役人中	小山村三木源四郎居屋敷について検地役人へ免ずることを指示する。	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。戦前版『島根県史』9	
224	(慶長7)壬寅8.10	1602	岸彦兵衛外２名連署状	岸彦兵衛(花押)、小斎(花押)、落蔵人(花押)	古志村　御検地衆		比布智神社文書(島根県立図書館蔵)。春日家文書『島根県史編纂資料』※	
225	(慶長7)壬寅8.11	1602	岸彦兵衛外４名連署書状	岸彦兵衛(花押)、村七郎右衛門(花押)、下方源左衛門(花押)、小斎(花押)、落蔵人(花押)	林助三、古屋作助、其外御検地衆	小山村三木源四郎屋敷分について掃部殿・頼母殿の命により、検地帳には免することを担当の役人へ伝える。	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』。	
226	(慶長7)壬寅8.11	1602	岸彦兵衛外６名連署書状	岸彦兵衛(花押)、村尾七郎右衛門(花押)、下方源左衛門(花押)、高見太助(花押)、武元八郎右衛門(花押)、小野斎助(花押)、落合蔵人(花押)	林助三、古屋、其外御検地衆	朝山八幡宮社人屋敷について	朝山家蔵文書(出雲市)。『旧島根県県史編纂資料』※	
227	(慶長7)壬刀8.11	1602	岸彦兵衛外６名連署状	岸彦兵衛(花押)、村尾七郎右衛門(花押)、下方源左衛門(花押)、高見太助(花押)、武元八郎右衛門(花押)、小野斎助(花押)、落合蔵人(花押)	小山村惣百姓中	三木源四郎へ小山村公文職を申しつける	三木家文書(島根懸史の三木亀之助蔵文書)『出雲平野の開拓-三木与兵衛の偉業-』三木家文書7号。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
228	(慶長７)8.26	1602	保知石宮社役ニ付申渡状	頼母(花押)、蔵人(花押)	神主久右衛門、古志宮人衆	保知石宮社役申渡状	春日家文書(島根県立図書館蔵)。『旧島根県史編纂資料』※。『比布智神社文書目録』	
229	慶長７.壬寅8.26	1602	慶長七年姫二所大明神再興造営棟札　写	神主治部太夫清實、大工竹田藤原次久、小工與三右衛門、鍛冶與三左衛門、大ぬさ道具筋共吉岡三郎右衛門		大旦那本願・宮崎・吉岡三郎右衛門尉ら姫二所大明神を造営する。『當國守護堀尾信濃守』とある。	秋鹿神社(松江市秋鹿町)『宝暦一四年秋鹿神社差出帳及明治三十五年神社由緒調査調』『秋鹿村誌』※	
230	慶長７.9.12	1602	落合貞親・堀尾正秀連署書状	落合蔵人貞親(花押)、堀尾頼母正秀(花押)	神主江原		朝山家蔵文書(出雲市)。『旧島根県県史編纂資料』※	
231	慶長7･9･29	1602	時慶記	西洞院時慶		西洞院時慶、伏見において堀尾吉晴等と知人になる	本願寺蔵。時慶記研究会『時慶記』2※	慶長7年9月29日条池尾太刀帯
232	慶長７.10.5	1602	高日明神神領寄進状	頼母助(花押)、蔵人頭(花押)	津田之別火	津田高日大明神社領として荒地3段半を寄進する	津田村鷹日神社文書(松江市東津田町)。『八束郡誌』鷹日神社文書1号※	
233	慶長7.10.23	1602	浄音寺空清証文	空清(花押)	秋上左衛門、同　右近助	堀尾殿様の御代に浄音寺領が退転しようとすることについて善処を願っている	神魂神社秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書227号※	
234	(天正15-慶長8)2.28	1587-1603	徳川家康書状	家康(花押)	稲葉右京亮	稲葉貞通からの太刀と料紙が届いた事の礼と委細は堀尾帯刀から伝える。稲葉貞通の没年からとりあえずここに入れる。	豊後臼杵稲葉文書(東史影)。『岐阜県史』資料編古代中世4、豊後臼杵稲葉文書21号※	稲葉貞通、慶長8年9月没
参考	慶長8.3.25	1603	徳川実紀			堀尾信濃守忠氏は従四位下に叙し、出雲守と改める	『国史大系』38巻※	
235	慶長8.3	1603	御手傳覚書			江戸城普請に堀尾忠氏、浅野幸長の組で参加する	「朝野旧聞裒藁」496『大日本史料』12-1※	慶長8年3月3日条
236	慶長8.4.18	1603	日御碕神社社領寄進状	吉川左兵衛尉□□(花押)	日御碕元政	御神領として神門郡高岡村田地1段を寄進する	日御碕神社文書4、『大日本史料』12-1※	
237	慶長8.7.4		梶福留村八幡宮棟札写			地頭堀尾信濃守、役人西村二良左衛門尉重良	梶福留村八幡宮(安来市広瀬町)。『島根県史編纂資料』近世筆写編178※	
参考	慶長8.7.28	1603	家忠日記増補追加			堀尾忠氏、千姫の大坂城入輿に際し人夫300名を使い水路を開導する	「家忠日記増補追加」18『大日本史料』12-1※	慶長8年7月28日条
参考	慶長8.11.14	1603	中村一氏記			富田在城の吉晴・忠氏、中村忠一への援軍を指揮する　上田権右衛門討ち死する『伯耆志』では忠氏は松江にいたとする。	「中村一氏記」『改定史籍集覧』14。『大日本史料』12-1※	慶長8年11月14日条
238	慶長9.2.21	1604	八幡神田打渡状	野々口彦助(花押)	左守太夫	野々口彦助、八幡神田を打渡す	簸川郡園村秦榮一郎蔵文書。『旧島根県史編纂資料』※	野々口彦助は堀尾家家臣『武家事紀』
239	慶長9.3.吉	1604	土肥如鷹・落合旨親連署寄進状	土肥甫庵如鷹(花押)、落合蔵人旨親(花押)	仁多郡亀嵩覚融寺	寺領8石を寄進する	覚融寺蔵文書(奥出雲町)。『旧島根県史編纂資料』。『仁多郡誌』覚融寺3号※	『旧県史』では春木松亀蔵文書と合冊

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
240	慶長9.卯.10	1604	甫庵打渡状	甫庵(花押)	覚融寺侍者	8石を打渡す	覚融寺蔵文書(奥出雲町)。『旧島根県史編纂資料』。『仁多郡誌』覚融寺4号※	『旧県史』では春木松亀蔵文書と合冊
参考	慶長9.6.23	1604	寛政重修諸家譜			堀尾吉晴、従四位下に叙任する。	『寛政重修諸家譜』※	
241	慶長9.7.5	1604	吉川氏年貢返納皆済状案	吉川内　原勘右衛門尉	堀尾様御内　小野齊介	吉川広家、堀尾忠氏に出雲・隠岐の先納田祖を返却する	『大日本古文書吉川家文書』1344※。『大日本史料』12-2	慶長9年８月４日、堀尾忠氏没
242	慶長9.8.4	1604	堀尾忠氏五輪塔			砂岩　総高262cm	高野山。愛甲昇寛編『高野山所在戦国大名等供養塔』84※	
243	慶長9.8.13	1604	豊國大明神臨時祭日記			豊國神社臨時祭に堀尾出雲守馬3疋を献ずる	『大日本史料』12-2※	慶長9年8月14日条
244	(慶長9)9.10	1604	徳川秀忠書状写	秀忠	堀尾帯刀	忠氏死去にあたり吉晴へ御内書を送る	「譜牒餘録」(国立公文書館内閣文庫蔵)※	
245	慶長9.19	1604	大原神社棟札			地頭堀尾守殿、代官内泉守殿	大原神社(仁多郡阿井村大字上阿井)。『島根県史編纂資料』近世筆写178※	
246	慶長9.10.6	1604	杵築大社神領宛行状	小野斉助(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、落合蔵人頭貞親(花押)		堀尾家家臣が杵築大社領を承認する。北島分	北島家蔵(出雲市大社町)。『出雲国造家文書』170号※。『大日本史料』12-2	慶長9年10月6日条
247	慶長9.10.6	1604	杵築大社神領宛行状	小野斉助(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、落合蔵人頭貞親(花押)		同上。千家分	千家男爵家文書2(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※。『大日本史料』12-2	『大日本史料』12-2北島家のものと同文故略すとある。
248	慶長9.10.6	1604	鰐淵寺領宛行状	小野斉助(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、落合蔵人頭貞親(花押)		鰐淵寺領として宇賀河下村、別所幸河村、横引下庄村で250石を宛行う。	鰐淵寺文書(出雲市)。(東史影)※。	
249	慶長9.10.23	1604	杵築御神領千家分目録之事	千家民部少輔慶澄(花押)、長谷左衛門尉広佐(花押)、北崎采女允宗将(花押)、北嶋惣兵衛尉康兼(花押)、佐草左衛門尉貴清(花押)、富奥兵衛尉孝長(花押)		杵築神領千家分目録	千家文書12『大日本史料』12-2※	慶長9年10月6日条
250	慶長9.10.23	1604	杵築御神領北島分目録之事	北島惣兵衛康兼　(花押)、佐草左衛門尉貴清(花押)、富奥兵衛尉孝長(花押)、長谷左衛門尉広佐(花押)、北崎采女允宗将(花押)、千家民部少輔慶澄(花押)		杵築神領北島分目録	北島文書3　『大日本史料』12-2※	慶長9年10月6日条
251	慶長９.10.23	1604	堀尾家奉行人連署状	小野斉助(花押)、吉川左兵衛尉貞恒(花押)、落合蔵人頭貞親(花押)	佐草左衛門尉□□	杵築大社造歌免高17石内8石5斗について	佐草家文書(島根県古代文化センター寄託)。『旧島根県史編纂資料』※	
252	慶長９.10.25	1604	堀尾家奉行人連署状	小野斎(花押)吉川左兵衛(花押)、落合蔵人(花押)	富	杵築大社造歌免高17石内8石5斗について	富家文書(島根県古代文化センター蔵)。『旧島根県史編纂資料』※	古代文化叢書3『富家文書』で所蔵確認。
253	(慶長9)10.27	1604	西笑和尚文案	(西笑)	澄公座元　研右	雲州の寺領について使者を下向させるより吉晴の上洛の際に交渉することを伝える	相国寺蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』332号※	
254	(慶長９)霜.15	1604	堀尾家奉行人連署状	落合蔵人旨親、吉川左兵衛尉貞恒、小野斎介	鵜左太夫	杵築大社造歌免高17石内8石5斗について	島家文書(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
255	慶長9.12.4	1604	慶長九年十二月兼如独吟千句	猪苗代兼如、松田勝右衛門政行		堀尾出雲守忠氏の追悼連歌千首。徳川家康発句。松田政行は京都所司代前田玄以の奉行(「徳善院執事」)	国立国会図書館蔵『連歌合集』35※。他に写本多数。	正保二年筆写本
256	慶長９.12.20	1604	別火善四郎誓書	大社別火善四郎広吉(花押)	長谷	別火善四郎より千家への誓文。公儀と堀尾氏が北島家よりの動きを見せたことを記す	千家文書6　『大日本史料』12-2※	慶長9年10月6日条
257	慶長10.6.13	1604	西比田八幡宮棟札写			地頭堀尾三介公	西比田八幡宮(安来市広瀬町)。『比田村史』※	
258	(慶長10)6.18	1605	西笑和尚文案	元佶、承兌	妙心寺之内　芳沢笏室	貴芳沢笏室の申し分について吉晴の意思を伝える	相国寺蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』342号※	
259	慶長10.7.8	1605	佐波広忠目安状	佐波越後入道(花押)	井原四郎右衛門、榎本中務太輔、佐世長門守	佐波広忠、熊谷元直の言行を上申する。熊谷が堀尾氏へ流した噂など	毛利家文書。『大日本古文書　毛利家文書』4、1278号※。『大日本史料』12-3	(端裏書)「佐波越後申分」(※佐波広忠息善内、同年7月2日の熊谷元直誅殺時に巻き沿いで殺害される)
260	(慶長10)7.12	1605	堀尾吉晴書状	堀帯刀吉晴(花押)	豊光寺和尚(西笑承兌)、円光寺和尚(閑室元佶)	安斎という人物を妙心寺へ遣わし、寺について相談すること、吉晴は明日下向するので、詳しくは安斎から述べることを伝える	相国寺蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』西笑和尚文案紙背文書9-18号※	第９冊は慶長10年11月～11年12月までの書状案。「堀尾古記」慶長10年7月24日に富田帰城
261	(慶長10-12)7.27	1605-07	堀尾宗光書状写	堀尾掃部助　宗光花押	鰐淵寺　年行事	御袋様より50石の寄進を堀尾宗光が取り次ぐ　※慶長9年の寺領寄進には含まれていない	鰐淵寺文書２(出雲市)。『旧島根県史編纂資料』中世筆写編5※	宗光の没年慶長13年3月と14年3月の２説あり
262	(慶長10)8.初8	1605	西笑和尚文案	承兌	妙心寺　役者中	城宜軒相続について	相国寺蔵。『相国寺蔵　西笑和尚文案』406号※	
263	(慶長10)8.22	1605	西笑和尚文案	承兌	國造北嶋	西笑承兌が北嶋家の家督のことで帯刀(吉晴)と堀尾家奉行へ書状を送ったことについて	相国寺所蔵。『大日本史料』12-2。『相国寺蔵　西笑和尚文案』(慶長10年)408号※	「大日本史料」(慶長9年10月6日条)では「慶長9年カ」とある
264	(慶長10)12.13	1605	堀尾吉晴書状写	帯刀吉晴	本願老	大社遷宮に関して豊臣家臣片桐・雨森へ書状を送ったこと	「北島家譜」2　『大日本史料』12-6※	慶長14年3月28日条

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
265	慶長10	1605	國主城主記			出雲隠岐23万5000石、慶長10年指出高、堀尾出雲守忠氏　幕府へ申告する	「朝野旧聞裒稿」519『大日本史料』12-3※	慶長10年是歳
266	(慶長11ヵ)2.8	1606	堀尾吉晴書状	堀帯刀吉晴(花押)	木食上人	応其と疎遠になったことを詫び、今度普請のため東へ下る際にお会いしたい。(慶長11年江戸城普請に関わるか)	応其寺蔵(和歌山県橋本市)『木食応其特別展図録』※	吉晴の花押は晩年のもの
267	慶長11.3	1606	御手傳覚書			江戸城外郭の石垣普請手傳いに堀尾帯刀参加する	「朝野旧聞裒稿」523『大日本史料』12-3※	慶長11年3月1日条
268	慶長11.10.23	1606	掃部宗光以下四人連署書下写	斎助重満(花押)、蔵人頭貞親(花押)、頼母助正秀(花押)、掃部助宗光(花押)	神主甚三	中原大明神宮田弐貫地を古証文の通に認める	阿羅波比神社文書。(松江市)(東史影)※	
269	慶長11.11.26	1606	千家元勝書置	国造千家元勝(花押)		別火の由来と慶長九年の両国造相論で富田奉行所で審議したこと。今度の遷宮で奉行の堀尾宮内殿への訴訟について	千家文書4　『大日本史料』12-2※	慶長９年１０月６日条
270	慶長12.4	1607	堀尾吉晴五輪塔			砂岩。　逆修墓	高野山(二十四町石付近)。愛甲昇寛編『高野山所在戦国大名等供養塔』92※	
271	(慶長12)9.7	1607	堀尾一位書状	一位(花押)	大庭別火	三之介殿御祈念について	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書237号※	(年は異筆)
272	(慶長12ヵ)9.8	1607	堀尾一位書状	宮内一位(花押)	別火	伊弗諾・伊弗冊両社への御供米切手進上	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書238号※	秋上家237の内容から慶長１２年の文書カ
273	慶長12.9.9	1607	宇波二所神社棟札写			代官松本小右衛門尉	宇波二所神社(安来市広瀬町)。『島根県史編纂資料』近世筆写編178※	
274	慶長12.9.19	1607	大森大明神棟札			御地頭堀尾帯刀左衛門殿源可時御代官落合甚殿	湯野神社(奥出雲町亀嵩)。『亀嵩村誌』※	
275	(慶長12カ)未11.20	1607	堀尾民部書状写	民部一位　判	江口惣太夫	大庭社家へ御鷹之犬を負担させることを江口惣太夫へ命じる(堀尾宮内少輔と同一人か。)	大庭村神魂神社文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』神魂神社文書71号※	宮内と民部は江戸時代の秋上氏が同一人物と理解していたようである
276	慶長12年以前		医学天正記　坤	曲直瀬玄朔		堀尾山城守、曲直瀬玄朔の治療を受ける。「小兒」とあり幼年のおりのものか。	東京帝国大学所蔵。『改定史籍集覧』26※	慶長12年成立
277	慶長13.2.10	1608	宮内書状	宮内(花押)	肝煎三木源四郎	堀尾宮内が三木源四郎へ朝山郷内菱根新田の開発について、免許札と年貢料について通達する	三木家文書。(島根懸史の三木亀之助文書)『出雲平野の開拓-三木与兵衛の偉業-』三木家文書8号※。『旧島根県史編纂資料』	
278	(慶長13)5.朔	1608	宮内書状	宮内(印判)	三木与兵衛	走り百姓が戻らないのならば、空き屋敷へ新百姓を入れるよう命じる	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
279	慶長13.5.28	1608	堀尾一信書状	堀尾宮内一信(花押)	長谷左衛門尉、北崎主水	担当の奉行は、堀尾宮内、関係文書ものせる。	千家文書10『大日本史料』12-2※。千家男爵家文書２(出雲市大社町)『旧島根県史編纂資料』	慶長９年１０月６日条
参考	慶長13.6	1608	石河正西聞見集	石河正西		前田茂勝、家臣を殺害し改易、堀尾山城守へ預けられる。茂勝は忠晴の叔父	光西寺蔵(埼玉県川越市)。『埼玉県史料集』1※。『大日本史料』12-5	「大日本史料」(慶長13年6月是月)
280	慶長13.8.29	1608	堀尾一信書状	堀尾宮内少輔(花押)	国造千家	別火について	千家男爵家文書2(出雲市大社町)。『旧島根県編纂史資料』※	
281	慶長13.8.晦	1608	別火祐吉誓書	別火祐吉(花押)	北崎主水佐	別火祐吉より北島家への誓書。御奉行堀尾宮内へ頼み奉る	千家文書6　『大日本史料』12-2※	慶長９年１０月６日条
282	慶長13.9.14	1608	堀尾宮内一信書状	堀尾宮内一信	國造千家		千家男爵家文書6(出雲市大社町)。　『旧島根県史編纂資料』※	
283	(慶長13)申11	1608	国造北島氏願書案		御奉行所	堀尾家寺社奉行宛に提出した願書控	北島家蔵(出雲市大社町)。『出雲国造家文書』180号※	
284	慶長13.	1608	当代記			3月～12月までの間に堀尾帯刀・三之助等諸大名の家康への贈答について一覧。	史籍雑纂『当代記・駿府記』※。『大日本史料』12-5	慶長13年3月11日条
285	(慶長13-14)	1608-09	慶長年中江戸図			慶長13-14年に成立。堀尾帯刀屋敷が見える。現存の絵図は後世のもの	『大日本史料』12-4※	慶長11年5月是月
286	(慶長14)2.6	1609	堀尾一信書状(折紙)	堀尾宮内少輔一信(花押)	国造北嶋	大社の遷宮が近づいたので大坂の秀頼から仰せがあり当方から武元・村尾の両名を派遣する	北島家蔵(出雲市大社町)。『出雲国造家文書』181号※	
287	慶長14.3	1609	妙心寺春光院蔵　堀尾忠氏画像　大徳寺宗承賛	前大徳見興自公叟宗承賛之			妙心寺春光院蔵(京都市)。『島根県史』8※	
288	慶長14.3如意珠	1609	出雲大社棟札	片桐東市正且元(花押)、堀尾帯刀吉晴(花押)		願主豊臣秀頼、片桐且元・堀尾吉晴奉行として大社の造営を行う	出雲大社宝物館蔵(出雲市大社町)。『大日本史料』12-6※	慶長14年3月28日条
289	慶長14.卯.2	1609	堀尾宮内一信書状(折紙)	堀宮内一信(花押)	国造千家	大社遷宮について	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。　『旧島根県史編纂資料』※	
290	慶長14.卯.4	1609	則武三大夫書状	則武三大夫□(花押)	国造千家	大社遷宮について	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。　『旧島根県史編纂資料』※	
291	慶長14.卯.6	1609	堀尾宮内少輔一信書状(折紙)	堀尾宮内小輔一信(花押)	国造千家	大社遷宮について。千家への返書	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。　『旧島根県史編纂資料』※	
292	慶長14.7.吉	1609	出雲大社鰐口	堀尾帯刀佐吉晴		御奉行堀尾帯刀佐吉晴	出雲大社宝物館蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
293	慶長14.8.25	1609	堀尾吉晴書下写	吉晴書判	村田勘六左衛門	護国寺への寺領寄進を命じる	護国寺蔵(隠岐の島町)。『隠岐島誌』護国寺文書2号※	
294	慶長15.2.14	1610	堀尾吉晴判物	帯刀先生　吉晴(花押)	日御碕高政	出雲国神門郡日御碕検校職・日御碕神領の安堵。神領目録は別紙を渡す	日御碕神社文書1(出雲市大社町)。　『旧島根県史編纂資料』。日御碕神社文書6『大日本史料』12-7※	慶長15年雑載
295	慶長15.卯.24	1610	堀尾一信安堵状	堀尾宮内少輔一信(花押)	村上九右衛門	隠岐国海士郡三ヶ村公文職の安堵	隠岐村上家蔵(隠岐郡海士町)。『隠岐島誌』隠岐村上家文書14号※。村上家文書『旧島根県史編纂資料』	
296	慶長16.2.11	1611	岩屋寺棟札			當国守堀尾三介殿、御代官長谷川賀兵衛尉貞勝	岩屋寺(奥出雲町)。『島根県史編纂資料』近世筆写編177※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
参考	慶長16.3.11	1611	寛政重修諸家譜			堀尾忠晴、従5位下山城守に任官	『寛政重修諸家譜』※	
参考	慶長16.3.20	1611	寛政重修諸家譜			堀尾忠晴、従4位下に叙せられる	『寛政重修諸家譜』※	
297	慶長16.3	1611	禁裏御普請帳			堀尾山城守(忠晴)、禁裏修造の助役を勤める	『大日本史料』12-8※	慶長16年3月是月条
参考	慶長16.3	1611	安政内裏造営志			堀尾山城守、内裏東郁の築地造営を担当する	『大日本史料』12-8※	補遺慶長16年3月是月条
298	慶長16.4.12	1611	諸大名誓約條書	豊前宰相忠興(花押)、越前少将忠直(花押)、播磨少将輝政(花押)、安芸少将正則(花押)、薩摩少将□□□□、美作侍従忠政(花押)、加賀侍従利光(花押)、周防侍従秀就(花押)、丹後侍従高知(花押)、若狭侍従忠高(花押)、備前侍従輝直(花押)、加藤肥後守清正(花押)、黒田筑前守長政(花押)、藤堂和泉守高(花押)、蜂須賀阿波守至鎮(花押)、松平土佐守忠義(花押)、田中筑後守忠政(花押)、生駒讃岐守正俊(花押)、堀尾山城守忠晴(花押)鍋島信濃守勝茂(花押)、金森出雲守可重(花押)		家康、法令三ヶ条を定めて近畿・中国及び西国の諸大名22名に示し、其誓書を提出させる	前田家蔵「古蹟文徴」9。『大日本史料』12-8※。『徳川家康文書』下-1	
299	慶長16.6.17	1611	当代記			堀尾帯刀死去、昨夜ヨリ霍乱、俄以如此、	史籍雑纂『当代記・駿府記』※。『大日本史料』12-8	慶長16年6月17日条
300	慶長辛亥季夏17	1611	妙心寺春光院蔵　堀尾吉晴像　春龍玄済賛	前住花園現瑞応春龍叟			妙心寺春光院(京都市)。『開山無相650年遠諱記念　妙心寺』※	
301	慶長16.6.28	1611	堀尾家家臣団起請文写	堀尾宮内少輔、堀尾修理亮、松田左近将監、小嶋伊豫守、堀尾弥兵衛尉、吉川若狭守、堀尾頼母介、堀尾河内守		吉晴の死後、堀尾家臣団起請文を作成する	安部吉弘氏蔵。特別展「堀尾氏と松江開府」(松江郷土館)での展示※	慶長16年6月17日に吉晴没
302	(慶長16)7.朔	1611	徳川秀忠書状写	御黒印	堀尾山城守	堀尾帯刀の死去を心中を察すること、委細は大久保忠隣・本多正信から伝える。	『譜牒餘録』堀尾家　(国立公文書館蔵)※	
303	(慶長16)7.3	1611	大久保忠隣・本多正信連署書状	大久保相模守忠隣(花押)、本多佐渡守正信(花押)	堀尾頼母助、吉川若狭守、河内隼人、松崎□□□頭、堀尾孫兵衛、小嶋伊与	堀尾帯刀の死去に関して、上様(将軍秀忠)より御内書が出されたことを伝える	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵)※。辻善之助編『成簣堂文庫古文書目録』堀尾文書	
304	慶長16.7.3	1611	神原神社棟札			大原郡神原村松井大明神社の造営、地頭並河甚助	神原神社(雲南市加茂町)。『加茂町史考』資料編P352※	
305	慶長16.9.22	1611	駿府記			堀尾帯刀吉晴の遺品金100枚と眞壺が家康へ献上される	史籍雑纂『当代記・駿府記』※。『大日本史料』12-8※	慶長16年6月17日条
306	慶長17.5.8	1612	駿府記			堀尾山城守参府、銀子等献じる。家子数十人御目見。	史籍雑纂『当代記・駿府記』※。『大日本史料』12-8※	慶長16年6月17日条
307	慶長17.5	1612	宇能遅神社棟札			大原郡宇治三社大明神御宝殿、地頭平朝臣並川□衛門尉宗信・橘朝臣落合□衛門尉直親	宇能遅神社(雲南市加茂町)。『加茂町史考』資料編P354※	
308	慶長17.6.4	1612	徳川秀忠判物	(花押)	堀尾山城守	出雲・隠岐両国の領有を認める	金子義明氏蔵。『季刊文化財』111号※	
309	(慶長19).正.9	1614	細川忠興書状	越中(花押)	内記	江戸城の普請について、国々諸大名は普請に出ず在国せよとの触れだが、念を入れて江戸に出る。記事に堀尾帯刀孫(忠晴)等の動向を推量する	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』1.59※	
310	慶長19.3.10	1614	塩冶八幡宮神領所付写	三宅加兵衛書判	神主波多野清介	雲州神門郡塩冶八幡宮へ30石の神領を奉行民部少輔の指示で渡す	塩冶神社(出雲市)。秦清一『塩冶旧記』※	
311	慶長19.4.5	1614	亀鶴山八幡宮棟札			国主堀尾山城守忠晴公本願、地頭落合蔵人、本願目代皆尾弥市　秋間藤兵衛	亀鶴山八幡宮(安来市伯太町井尻)。『井尻村史』※	
312	慶長19.8.26	1614	慶増安太夫連署證文	慶増安太夫(花押)、山田勘右衛門(花押)、鳴田文左衛門(花押)	大庭神主	伊弊册御神領分の銀子を前々の如く認める	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書241号※	
313	慶長19.極.27	1614	堀尾家奉行人連署奉書写	村尾七郎右衛門手判、雀部[　　](市郎兵衛)同判	鶯・宇道地下中	堀尾家奉行村尾・雀部、鶯・宇道山海境について両地の地下人に相論のないよう伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』186号※	
314	(慶長19).極.27	1614	堀尾民部書状	堀尾民部(花押)	富與兵衛	山城守様御祈念の連歌御執行、忠晴の出陣を伝える	富家文書(島根県古代文化センター蔵)。『旧島根県史編纂資料』。『島根県史』8※	
参考	(慶長19～20)	1614-15	石川康通跡目相続・大坂の陣等覚書			堀尾家臣前田丹波・山南宅江大坂冬の陣で石川忠総の陣へ訪れ、吉晴の時代の城責について物語する	加藤家文書(亀山市博物館)。『亀山歴史博物館歴史資料叢書』11※	
315	元和元.正.吉	1615	女房書状	ゆゝき	越後頭	国中の長久祈念	平林家文書(松江市熊野町)。『八束郡誌』平林家文書2※	
316	(元和元).卯.25	1615	堀尾忠晴書状(折紙)	忠晴(花押)	国造北嶋	大坂冬陣の出陣で祈祷の巻数および太刀・馬代の見舞いとして増進したことへの礼状。民部が奏者	北島家蔵。『出雲國造家文書』188号※	
317	元和元.春陽	1615	報恩寺鐘銘文			元和2年に長谷川湯之介により梵鐘が寄進されている。	報恩寺(松江市玉湯町)。『報恩寺と初代松江藩主堀尾氏』写真※。『雲陽誌』。	
318	(元和元頃).9.24	1615	堀尾忠晴書状(折紙)	堀尾山城守忠晴(花押)	国造北嶋	北島広孝へ祈念の巻数・樽代贈賜の謝意を伝える。	北島家蔵。『出雲國造家文書』189号※	
319	慶長20.11.12	1615	秋上伊之申状	大庭別火伊之(花押)	御奉行中	大庭別火分新嘗祭米について奉行中への申状	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書242号※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
320	元和2.3.8	1616	鰐淵寺領打渡之目録	堀尾民部少輔一信判	鰐淵寺惣山	竹本坊宣乗の離山により亡失したため再発給した鰐淵寺寺領目録	鰐淵寺文書2（出雲市）。『旧島根県史編纂資料』中世筆写編5※	
321	元和3.2.20	1616	一崎山善光寺鐘銘文	雲誉心岌		国主堀尾山城守の寄進と伝える	善光寺（松江市浜乃木町）。『一崎山善光寺』※	
322	元和3.10.27	1617	山田家秀證文	山田勘右衛門家秀（花押）	大庭寺社家中	今度出雲里の橋を掛けるにあたり惣石役以前諸役免除する	神魂神社　秋上家文書（松江市大庭町）。『意宇六社文書』秋上家文書246号※	
323	元和3.10.27	1617	石役免許證文	意宇郡周藤宗吉（花押）、目代弥左衛門（黒印）、高林又左衛門（花押）、役人仁右衛門（黒印）	大庭寺社中	御奉行山田勘右衛門様よりの書状に基づき今度出雲里の橋を掛けるにあたり惣石役以前諸役免除する	神魂神社　秋上家文書（松江市大庭町）。『意宇六社文書』秋上家文書247号※	
324	元和3.仲冬.吉	1617	富田八幡宮棟札写	竹箭丹後守藤原朝臣忠晴、大願主堀尾河内守在平朝臣延定		大檜那堀尾山城守在平朝臣忠晴、大願主堀尾河内守在平朝臣延定	『郷土広瀬』※	寛政2年3月の火災で原本焼失
325	（元和5）3.9	1619	細川忠興書状	越忠興（印）	内記	出府中の諸大名（忠晴等）の帰国許可が出されたこと	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』1、187号※	
326	元和5.3.28	1619	狭長神社棟札			國主堀尾山城守、當御地頭堀尾修理頭、同代官柿本九右衛門尉、當御地頭荻野勝右衛門、御内渡部少兵衛尉	狭長神社（雲南市掛合町）。『掛合村誌』※	
327	元和5.6.2	1619	堀尾家奉行人寄進状	民部（花押）	神主家原大宮司	秋鹿郡大野庄足高大明神へ長松院様の御理により播磨鍛冶分15石を寄進する。	内神社蔵文書（松江市秋鹿町）。『旧島根県史編纂資料』※	
328	元和5.6.2	1619	堀尾家奉行人寄進状写	民部　御判	神主家原大宮司	秋鹿郡大野庄足高大明神へ長松院様の御理により播磨鍛冶分15石を寄進する。	内神社文書（松江市秋鹿町）。『八束郡誌』秋鹿村内神社文書10号※	
329	元和5.6.2	1619	堀尾但馬・掛斐伊豆連署証文写	堀尾但馬御判、掛斐伊豆御判	神主大内蔵	秋鹿郡大野庄高宮神主屋敷竹木宮廻りの安堵	内神社文書（松江市秋鹿町）。『八束郡誌』秋鹿村内神社文書11※	
330	（元和5）未6.12	1619	廣島城請取并在番配賦覚書			広島城三の丸に堀尾勢等西国の大名在番する	毛利家文書。『大日本古文書　毛利家文書』3、1163号※。	
331	（元和5）.6.21	1619	児玉元書書状	児八郎左衛門（花押）	益玄、完主殿	福島正則改易により堀尾氏へも安芸国へ人数を入れないように命令が出されている。堀尾氏は赤名に陣取	毛利家文書。『大日本古文書　毛利家文書』3、1167号※。	
332	元和6	1620	御四代記			元和6年の大坂築城工事に堀尾忠晴参加する。石垣工事	『忠義公紀』1『山内家史料』。『大阪市史史料』71※	
333	元和6	1620	元和年録			正月18日に仰せつけの工事区間、青や口御門より玉造御門迄の間の工事堀尾氏ら11名の大名の担当	『元和年録』『内閣文庫所蔵史籍叢刊』65。『大阪市史史料』71※	
334	（元和6）3.15	1620	細川忠利書状案	（細川忠利）	長船十右衛門	細川忠利、堀尾忠晴が徳川秀忠の同意を得て老臣を配流する話を細川忠興家臣へ披露する	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』8、11※	
335	（元和6）卯.28	1620	伊藤七大夫・森九左衛門連署書状	伊藤七大夫正（花押）、森九左衛門（花押）	岩崎又右衛門	工事の状況を伝える山内家臣の書状に堀尾の御町場の記事あり	山内文書。『大日本史料』12-33。『大阪市史史料』71※	
336	（元和6・7）卯.9	1620	掛斐伊豆・村尾七郎連署書下	伊豆（黒印）、七郎（黒印）	三木與兵衛	菱根新田當作の指示。元和5年名寄帳を元に當作させるよう指示のため元和6・7年頃	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
337	（元和6）.4.18	1620	細川忠興書状	越（ローマ字書印）	内記	堀尾山城守、お暇を得て上洛する、又大坂普請中の家中の衆にも暇が出された	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』1、220号※	
338	（元和6ヵ）8.13	1620	堀尾家三奉行連署書状	掛斐伊豆高清（花押）、村尾七郎右衛門正以（花押）、堀尾但馬方成（花押）	日御碕高政	園村の新田の蔵入について	日御碕神社蔵文書1『旧島根県史編纂資料』※	
339	元和6.10.12	1620	出雲国日御碕御神領之目録	掛斐伊豆守高清（花押）、村尾七郎右衛門尉正以（花押）、堀尾但馬守方誠（花押）	日御碕検校	神門郡宇龍浦50石、同郡園村之内563石3斗、合せて613石三斗の神領目録	日御碕神社蔵文書1『旧島根県史編纂資料』※	
340	元和6.10.25	1620	堀尾忠晴知行宛行状写	忠晴　判	小杉岡右衛門	忠晴、小杉岡右衛門へ150石加増する。	『伯耆志』巻6, 會見郡6。會見郡海池村。『因伯叢書』4※。	
341	元和7.神在.吉	1621	三田原八幡宮棟札			大檜那梵天正堀尾山城守、肝煎堀江善右衛門、同代官伊勢國鋳鍋郡種村彌太夫吉正、同下郡代岸本與兵衛定吉、堀江三右衛門	兎比神社（雲南市吉田町）。『吉田村資料』2※	
342	（元和7ヵ）霜.3	1621	掛斐高清書状（折紙）	掛斐伊豆守高清（花押）	国造北嶋	借用した古証文の返却について	北島家蔵。『出雲國造家文書』193号※	『出雲國造家文書』の年代比定による
343	（元和7）11.21	1621	堀尾家奉行人連署書状（折紙）	掛斐伊豆高清（花押）、村尾七郎右衛門尉正以（花押）、堀尾但馬高成（花押）	国造北嶋	北島晴孝元服について、忠晴の一字拝領。御烏帽子名の事	北島家蔵。『出雲國造家文書』194号※	
344	元和7.11.27	1621	堀尾忠晴一字書出	忠晴（花押）	北嶋平十郎	堀尾忠晴、北嶋平十郎へ「晴」の一字を与える	北島家蔵。『出雲國造家文書』195号※	
345	（元和7）12.3	1621	堀尾忠晴書状	堀尾山城守忠晴（花押）	国造北嶋平十郎	北嶋平十郎の贈物に対する礼状	北島家蔵。『出雲國造家文書』196号※	
346	（元和7）12.5	1621	堀尾家奉行人連署書状（折紙）	掛斐伊豆守高清（花押）、村尾七郎右衛門尉正以（花押）、堀尾但馬守高成（花押）	国造北嶋平十郎	北嶋平十郎の元服を祝う	北島家蔵。『出雲國造家文書』198号※	
347	（元和7）12.7	1621	堀尾家奉行人連署書状（切紙）	掛斐伊豆守高清（花押）、村尾七郎右衛門尉正以（花押）、堀尾但馬守高成（花押）	国造北嶋平十郎	北嶋平十郎の元服の祝儀に忠晴より備前兼光、脇差三原を贈ること	北島家蔵。『出雲國造家文書』197号※	
348	（元和7）12.27	1621	堀尾忠晴書状（折紙）	堀尾山城忠晴（花押）	国造北嶋	国造北嶋広孝へ元服にあたり、祝儀の贈進に謝意を伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』199号※	
349	元和7.陽.12	1621	堀尾忠晴書状	山城守忠晴（花押）	国造千家	大社への祈祷の依頼	千家男爵家文書5（出雲市大社町）。『島根県史編纂資料』※	
350	元和8.2.5	1622	堀尾但馬・掛斐伊豆寄進状	掛斐伊豆高清（花押）、堀尾但馬（花押）	妙巌寺	雲州仁多郡三澤庄妙巌寺領5石を寄進する	蔭凉寺（仁多郡奥出雲町）。『仁多郡誌』三澤村蔭凉寺文書4※『旧島根県史編纂資料』	
351	元和8.卯.18	1622	日登山満福寺棟札			御国守護堀尾山城守忠氏公、御地頭今村弥衛門尉、御地頭土山与衛門尉	満福寺（雲南市木次町）。『木次町誌』※	

no	年　号	西暦	文　書　名	発　給　者	受　給　者	内　容	出　典	備　考
352	元和8.6.18	1622	熱田裁断橋儀宝珠銘文			堀尾金助33回忌の供養に熱田裁断橋の架橋する。	熱田裁断橋儀宝珠(名古屋市立博物館蔵)。『熱田裁断橋物語』※	
353	元和8.8.21	1622	堀尾但馬・揖斐伊豆安堵状	堀尾但馬□(花押)、揖斐伊豆高清(花押)	神主大蔵	秋鹿郡大野庄高宮神主屋敷竹木宮廻りの安堵	内神社蔵文書(松江市秋鹿町)。『旧島根県史編纂資料』※	
354	元和9.2.5	1623	揖斐伊豆書下	伊豆(印)	神主宮内兵輔、神主権太輔	御祈念の米6石の安堵	須恵都久神社文書(松江市)。(東史影)※	
355	元和9.3.10	1623	堀尾但馬・村尾越中連署書下	但馬(黒印)、越中(黒印)	三木與兵衛	菱根新田當作の指示	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
356	元和9.3.13	1623	堀尾但馬他2名連署書下	堀尾但馬方成(花押)、村尾越中正以(花押)、揖斐伊豆高清(花押)	神主門脇宮内、同権大夫	末次の3つの宮の安堵	須恵都久神社文書(松江市)。(東史影)※	
357	元和9.6.13	1623	堀尾民部書下	堀尾民部(花押)	中原神主甚三	中原宮地境の前の通り安堵する	阿羅波比神社文書(松江市)。(東史影)※	
358	元和9.11	1623	堀尾忠晴判物	忠晴(花押)	千家主殿助	国造千家義廣より割分200石と杵築屋敷3カ所の知行安堵	千家男爵家文書3(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
359	元和9.11	1623	堀尾忠晴判物写	忠晴(花押)	千家主殿助	国造千家義廣より割分200石と杵築屋敷3カ所の知行安堵の写	千家男爵家文書2(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
360	元和9.11	1623	堀尾忠晴判物	侍従高階忠晴(花押)	波多野周防	神門郡薗妙見神主職の安堵	秦家文書(出雲市)。『旧島根県史編纂資料』※	
361	元和9.11	1623	堀尾忠晴知行宛行状写	忠晴　判	二宮久治郎	忠晴、二宮久治郎へ150石の領知の宛行。	「伯耆志」巻1、會見郡1。會見郡平岡村。『因伯叢書』4※。	「印判にて忠晴の文字あり」
362	元和10.正	1623	覚			堀尾忠晴は半役9万3000石で大坂城普請に参加する。正月5日に工事命令が出される	「鍋島勝茂譜考補」(国立公文書館蔵)。『大阪市史史料』71※	
363	元和10.正.20	1624	堀尾忠晴書状	堀尾山城忠晴(花押)	国造千家		千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
364	元和10.3.16	1624	千家治部少輔他10名連判状	千家治部少輔慶澄(花押)、同和泉守家□(花押)、赤塚左兵衛尉長信(花押)、中木五助□之(花押)、同五左衛門尉高□(花押)、長谷壱岐守廣佐(花押)、千家主殿助□信(花押)、同□□和幸(花押)、中□監(花押)、長谷右兵衛尉和之(花押)、平尾式部少輔和□(花押)	千家□蔵	長松院(堀尾忠氏正室)の祈祷についての取り決め	千家男爵家文書3(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
365	元和10.6.吉	1624	宇能遅神社棟札			地頭並川平助□・落合教道。代官増見宇蔵・□□平右衛門	宇能遅神社(雲南市加茂町)。『加茂町史考』資料編※	
366	(寛永元).8.20	1624	堀尾忠晴書状	堀尾山城守(花押)	松土州	堀尾忠晴、山内忠義へ大坂城石垣の破損について連絡し、協議を申し入れる	『御手許文書』。『忠義公紀2』『山内家史料』。『大阪市史史料』71※	
367	(寛永元).8.27	1624	松平定綱書状	松平越中守定綱(花押)	松平土佐守	元和6年工事で堀尾等の築いた石垣破損について御奉行衆の穿鑿があること	『御手許文書』。『忠義公紀2』『山内家史料』。『大阪市史史料』71※	
368	(寛永元).8.27	1624	伊藤玄丞・黒部三平連署書状案	松平土佐守内伊藤玄丞、黒部三平	鍋島信濃守	破損石垣の再工事について	『御手許文書』。『忠義公紀2』『山内家史料』。『大阪市史史料』71※	
369	寛永甲子.10.11	1624	塩冶神社棟札			出雲隠岐守護堀尾山城守高階忠晴	塩冶神社(出雲市)。秦清一『塩冶旧記』※	
370	寛永元	1624	報恩寺摩利支天堂棟札			(堀尾忠晴施主)	報恩寺蔵(松江市玉湯町)。『報恩寺と初代松江藩主堀尾氏』写真※。『雲陽誌』。	
371	元和10.9.3	1624	小鳩伊与書状	小鳩伊豫守□□(花押)	国造千家		千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
372	元和10.9.16	1624	姫二所大明神再興棟札写			當国主堀尾山城守	姫二所大明神(松江市秋鹿町)。『秋鹿村誌』※	
373	寛永元.10.吉	1624	美保大明神棟札			御守護堀尾山城守、郡松山七右衛門	美保関町美保神社文書(松江市美保関町)。『八束郡誌』美保神社文書5号※。	
374	寛永元.10.吉	1624	塩冶八幡宮棟札			出雲隠岐守護堀尾山城守高階忠晴朝臣、奉行堀尾但馬方成、揖斐伊豆高清、堀尾采女	塩冶神社(出雲市)。秦清一『塩冶旧記』※	
375	寛永2.3.7	1625	堀尾但馬・村尾越中連署書下	但馬(黒印)、越中(黒印)	三木與兵衛	菱根新田當作の指示	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
376	寛永2.8.24	1625	堀尾忠晴願文	高階堀尾山城守忠晴朝臣(花押)		禁酒願文	宝照院蔵(松江市)。『島根県史』8※。宝照院文書(東史影)	
377	寛永2.10.16	1625	八幡宮神田坪付	堀尾但馬、後藤吉右衛門	玉造八幡宮神主遠藤対馬守宗晴	湯之町面白村内、2石3斗1升1合	玉湯村八幡宮文書(松江市玉湯町)。『八束郡誌』玉湯村八幡宮文書1号※	
378	寛永3.正.17	1626	堀尾家三奉行連署奉書	堀尾但馬方成(花押)、村尾越中正以(花押)、揖斐伊豆高清(花押)	千家主殿助	両家上官屋敷について忠晴の仰せにより安堵する	千家男爵家文書3(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
379	寛永3.卯.25	1626	揖斐伊豆・村尾越中連署書状	揖斐伊豆高清(花押)、村尾越中正以(花押)	国造千家	大社舞殿の修復に関する	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
380	寛永3.8.11	1626	堀尾家奉行人連署寄進状写	堀尾但馬、揖斐伊豆	波多野周防	雲州神門郡薗妙見御神領の前代譲状の通、園村30石を寄進	秦家文書(出雲市)。『旧島根県史編纂資料』※	
381	寛永3.8.25	1626	諸大名官位昇進次第書(折紙)			堀尾忠晴上洛し、侍従に任ぜられる	天理大学付属天理図書館蔵(奈良県天理市)。『青森県史』近世1、898号※	
382	寛永3.8.25	1626	梅津政景日記			堀尾忠晴、松平直政ら四品に昇進	大日本古記録『梅津政景日記』※	
383	寛永3.11.吉	1626	堀尾氏朝寄進状	堀尾掃部氏朝(花押)	峯寺阿厳院	堀尾氏朝、普光山峯寺領として三刀屋の内梅木村10石を寄進する	普光寺(峯寺)蔵文書(雲南市三刀屋町)。『旧島根県史編纂資料』※	
384	(寛永3)極.9	1626	堀尾家奉行人連署書状(切紙)	堀尾采女、、(花押)、堀尾但馬高成(花押)	国造北嶋	堀尾家奉行人から国造北嶋広孝へ杵築法度を出したので社家一同堅く守るよう伝える。	北島家蔵。『出雲國造家文書』205号※	年代は異筆
385	寛永3.極	1626	堀尾忠晴法度条々	出雲侍従堀尾山城守高階忠晴(花押)	両国造	堀尾忠晴、杵築へ法度を出す	出雲大社蔵文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
386	(寛永4.3.17頃)	1627	長松院殿真諦紹聖大姉之御辞世			長松院(堀尾忠氏正室)寛永4年3月17日死去	天理大学付属天理図書館蔵(奈良県天理市)。『国書総目録』※	
387	寛永5	1628	慶長年中ヨリ寛永年中迄御城廻御普請御手伝御務之趣公儀江被仰出候記録			堀尾山城守家中が、大坂城普請に参加する	山口県文書館蔵(山口市)。『大阪市史史料』71※	
388	寛永5	1628	大坂御二ノ丸南輪御普請之時萬日用銀四組割符御帳			堀尾山城守家中が、大坂城普請場での日用を用いた史料	阿波国徳島蜂須賀家文書(国文学研究史料館)。『大阪市史史料』71※	
389	寛永5	1628	部分御旧記			堀尾忠晴は半役9万3000石で大坂城普請に参加する。	『熊本県史料』近世3。『大阪市史史料』71※	
390	寛永6.3.3	1629	堀尾忠晴書状	出雲侍従忠晴(花押)	国造千家	徳川家光の疱瘡のため大社での祈念を依頼する	千家男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
391	寛永6.3.3	1629	堀尾忠晴書状	出雲侍従忠晴(花押)	日御碕	徳川家光の疱瘡のため日御碕神社での祈念を依頼する	日御碕神社蔵文書3『旧島根県史編纂資料』※	
392	寛永6.3.25	1629	酒井忠世書状	酒井雅楽頭忠世(花押)	国造	将軍家光の本復を伝え、忠晴の依頼の祈念に謝意を示す	千家男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
393	寛永6.5.23	1629	北島広孝目安状写	広孝	久徳勘解由、佐治刑部少輔	国造千家尊能との相論の訴状案	北島家蔵。「国造北島広孝覚書并訴状案」『出雲國造家文書』221号※	
394	(寛永6)7.5	1629	堀尾高成書状(折紙)	堀尾但馬高成(花押)	北嶋	天寿院(千姫)の疱瘡のため祈祷依頼。鷺ノ宮の巻数も贈るよう伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』207※	年代は異筆
395	寛永7.正.27	1630	堀尾但馬書下	但馬(黒印)	三木與兵衛	菱根新田當作の指示	三木亀之助蔵文書。『島根県史』8※。三木家文書『旧島根県史編纂資料』	
396	寛永7.霜.晦	1630	堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	国造千家	国造北島広孝の出行に対し、北島平十郎へ広孝に杵築へ戻らせるよう伝えたことを知らせる	千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂史料』※。「懐橘談」後編に引用。	
397	寛永8.7.7	1631	堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	国造千家	忠晴の当月の祈祷についての内容	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂史料』※	
398	(寛永8ヵ)7.7	1631	堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	□□千家	山城守様の当月の祈祷についての内容	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂史料』※	
399	寛永8.7.24	1631	堀尾忠晴伝達状	侍従高階忠晴(花押)	杵築両国造	大御所徳川秀忠の病により将軍家光より大社に祈祷を行うよう仰せがあり、堀尾忠晴が両国造へ伝達した	千家男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
400	寛永8.7.24	1631	堀尾忠晴伝達状	侍従高階忠晴(花押)	杵築両国造	大御所徳川秀忠の病により将軍家光より大社に祈祷を行うよう仰せがあり、堀尾忠晴が両国造へ伝達した	北島家蔵。『出雲國造家文書』208号※	
401	寛永8.7.24	1631	堀尾忠晴伝達状	侍従高階忠晴(花押)	日御碕検校	大御所徳川秀忠の病により将軍家光より日御碕神前で祈祷を行うよう仰せがあり、堀尾忠晴が日御碕検校へ伝達した	日御碕神社蔵文書3『旧島根県史編纂資料』※	
402	寛永8.8.朔	1631	堀尾家奉行連署書状	堀尾采女(花押)、堀尾但馬(花押)	国造千家	大御所秀忠の病の祈祷、堀尾家より堀尾因幡が忠晴名代で大社参詣を伝える	千家男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
403	寛永8.8.5	1631	堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	秋上平三郎	大御所徳川秀忠の病につき祈祷を命じる	神魂神社文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』『神魂神社文書73※『意宇六社文書』秋上家文書251号	
404	寛永8.8	1631	堀尾掃部助書状写カ	堀尾掃部助	波多野権太夫	大御所徳川秀忠の病につき祈祷を命じる	秦清一蔵(出雲市)。『塩冶旧記』※	
405	(寛永8)8.9	1631	堀尾采女・堀尾但馬連署書状	堀尾采女(花押)、堀尾但馬方成(花押)	日御碕尊久	大御所徳川秀忠の病につき祈祷を命じる	小野家文書2(出雲市大社町)『旧島根県史編纂資料』※	
406	寛永8.9.朔	1631	堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	日御碕尊久	大御所徳川秀忠の不例により日御碕神社での祈祷を将軍より堀尾忠晴へ命じられたことを伝える	小野家文書2(出雲市大社町)『旧島根県史編纂資料』※	
407	(寛永8)9.2	1631	稲葉正勝書状(折紙)	稲葉丹後守正勝(花押)	国造北嶋	徳川秀忠の病気治癒の祈祷について謝意を伝える。	北島家蔵。『出雲國造家文書』209号※	年代は異筆
408	寛永8.9.15	1631	内藤忠重書状	内藤加賀守忠重(花押)	国造北島	徳川秀忠の病気治癒の祈祷について堀尾山城守から堀尾掃部が大社へ派遣され祈念が行われたことを将軍家にも伝わったと伝える	北島男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
409	(寛永8)未9.17	1631	堀尾但馬書状	堀尾但馬方成(花押)	国造千家	忠晴様の当月の祈念について御巻数の進上が首尾良くいったことを、伊豆・内膳より聞いたこと	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
410	寛永8.9.20	1631	土井利勝書状	土井大炊頭利勝(花押)	国造北島	徳川秀忠の病気治癒の祈祷について謝意を伝える	北島男爵家蔵(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
411	(寛永9ヵ)正.22	1632	堀尾采女・堀尾但馬連署書状	堀尾采女(花押)、堀尾但馬方成(花押)	国造千家	鷺宮での祈祷として今村権七に代参させる	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
412	寛永9.正.24以降	1632	徳川秀忠形見覚書			堀尾山城守に秀忠形見として銀子3000枚	天理大学付属天理図書館蔵(奈良県天理市)。『青森県史』近世1、1024号※	
413	(寛永9ヵ)2.19	1632	堀尾家奉行人連署書状(切紙)	堀尾采女、、(花押)、堀尾但馬高成(花押)	北嶋平十郎	国主忠晴祈念のため当二月の御供米を来20日贈ること	北島家蔵。『出雲國造家文書』215号※	
414	寛永9.卯.25	1632	堀尾九十郎書状	堀尾九十郎久□(花押)	国造千家	伊弊諾御外遷宮について	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
415	(寛永9)6.10	1632	堀尾采女書状(折紙)	堀尾采女、、(花押)	国造北嶋	神魂社外遷宮について巻数贈進の謝意を伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』217号※	6月10日付堀尾家奉行人連署書状より寛永9年と推定
416	(寛永9)6.10	1632	堀尾家奉行人連署書状	久徳内膳、、(花押)、堀尾但馬高成(花押)、掛斐伊豆高清(花押)	国造北嶋	神魂社外遷宮について巻数贈進の謝意を伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』218号※	年代は異筆
417	(寛永9)6.12	1632	小嶋伊与書状	小嶋伊与□(花押)	国造千家	神魂社外遷宮について巻数贈進の謝意を伝える	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
418	(寛永9)6.28	1632	堀尾采女書状(折紙)	堀尾采女、、(花押)	国造北嶋	堀尾采女、国造北島氏へ明日前中納言水無瀬氏成が、玉造温泉から大社へ参詣することを伝え、社頭儀式の準備を通達する	北島家蔵。『出雲國造家文書』219号※	年代は異筆
419	(寛永9ヵ)8.3	1632	堀尾家奉行人連署書状(切紙)	堀尾采女、、(花押)、堀尾但馬高成(花押)	国造北嶋	神魂社遷宮について、国造北島氏の大庭へ罷越たことに対し、奉行から建立を成し遂げたいと伝える	北島家蔵。『出雲國造家文書』220号※	

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
420	寛永9.8.18	1632	堀尾家三奉行寄進状	堀尾但馬(花押)、揖斐伊豆(花押)、堀尾采女(花押)	岩屋寺	仁多郡横田村岩屋寺領、同所新田15石寄進し、都合30石とする	岩屋寺文書。『旧島根県史編纂史料』。『仁多郡誌』岩屋寺18号※	
421	(寛永9)9.吉	1632	松江藩役人連署証文	山田角蔵(黒印)良次(花押)、稲垣七左衛門尉(黒印)□□(花押)、堀尾采女(黒印)	修理免肝煎善右衛門、与一兵衛	松江藩、北島中書孝康へ大社神前にある松植え替えのため、修理免の内で代地を与えることを同地の肝煎へ伝える	北島正子蔵文書(吹田市)。『大社町史研究紀要』6、北島正子家文書7号※	年代は異筆
422	(寛永9).10.3	1632	揖斐高清書状	揖斐伊豆高清	国造千家	神魂社遷宮について、(揖斐伊豆は出雲・隠岐両国仕置と記入されている)	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
423	(寛永9).10.3	1632	堀尾但馬書状	堀尾但馬方成(花押)	□造千家	神魂社遷宮についてか	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
424	(寛永9).10.3	1632	堀尾采女書状	堀尾采女一(花押)	国造千家	神魂社遷宮について、巻数贈進のこと(堀尾采女は出雲・隠岐両国仕置と記入されている)	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
425	寛永9.10.3	1632	北島広孝訴状案	広孝	堀尾采女正	北島広孝、堀尾采女へ上洛して勅許を得るために上洛することを伝える	北島家蔵。「国造北島広孝覚書并訴状案」『出雲國造家文書』221号※	
426	(寛永9ヵ)10.5	1632	堀尾丹家書状	堀尾丹家□□(花押)	□造千家	神魂社遷宮についてか(旧例の如く遷宮)とある	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
427	(寛永9)10.6	1632	平河半介書状	平河半介一□(花押)	国造千家	大庭神魂社遷宮に関わる	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	寛永9年の神魂社遷宮に関わるか
428	(寛永9).12.5	1632	堀尾采女書状(折紙)	堀尾采女、、(花押)	北嶋平十郎	堀尾采女、北島晴孝へ北島広孝が周防三田尻まで赴いたことを伝える	北島家蔵。「国造北島広孝覚書并訴状案」『出雲國造家文書』224号※	
429	寛永9	1632	武州豊嶋郡江戸庄図			堀尾山城守屋敷地の確認ができる。現存の東京都立中央図書館蔵は写しだが、原図は寛永9年刊行。	東京都立中央図書館蔵。愛知県西尾市立岩瀬文庫。『国史大事典』1※	
参考	寛永9	1632	配所残筆	山鹿甚五左衛門高興(花押)	山鹿三郎右衛門、岡八郎左衛門	寛永9年、山鹿素行11歳、堀尾山城守家老揖斐伊豆により堀尾忠晴の前で書物を読む。200石で堀尾家に招かれる。	『配所残筆』。『岩波文庫』※。『日本思想大系』	「配所残筆」延宝3年正月成立
430	寛永拾.正.15	1633	堀尾家三奉行連署証文	堀尾采女一朋(花押)、揖斐伊豆高清(花押)、堀尾但馬方成(花押)	波多野権太夫	三宅加兵衛の書付を前の如く承認すること	塩冶神社(出雲市)。秦清一『塩冶旧記』※	
431	寛永10.2.16	1633	堀尾一氏寺地返却状	堀尾右近一氏(花押)	一崎山善光寺別當肝煎與三兵衛	城安寺の寺地を善光寺に返却することを認める	乃木村善光寺文書(松江市浜乃木町)。『八束郡誌』善光寺文書2号※	
432	(寛永10).卯.15	1633	堀尾大隅書状	堀尾大隅氏親(花押)	国造千家	伊弉諾御遷宮について、千家の申入を使者長谷右兵衛尉から聞いたとする内容	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	年代は異筆
433	寛永10.5	1633	出雲隠岐両國太守堀尾山城守家中給帳	堀尾掃部六□□氏成判		寛永10年5月筆写の給帳を元禄13年8月に堀尾氏成の孫、弥平次成親という人物が筆写した写本	「出雲隠岐両國太守堀尾山城守家中給帳」(東京大学総合図書館蔵)※	
434	(寛永10).9.14	1633	堀尾忠晴遺言状	堀尾山城守	酒井雅楽、酒井讃岐、土井大炊	堀尾忠晴、酒井忠世・酒井忠勝・土井利勝等老中に遺言を伝える	『譜牒餘録』(国立公文書館蔵)※『松江市誌』	原本は石川家に伝わる
435	寛永10.9.17	1633	堀尾家三奉行寄進状写	堀尾但馬、揖斐伊豆、堀尾采女	妙巌寺	雲州仁多郡三澤庄妙巌寺に5石を寄進する	蔭涼寺(仁多郡奥出雲町)。『仁多郡誌』三澤村蔭涼寺文書5※。『旧島根県史編纂資料』	
436	寛永10.9.20	1633	堀尾忠晴宝筐印塔			円成院殿前雍州太守高賢宗肖大居士	養源寺(東京都)。『島根県史』8※	
437	寛永10.9.26	1633	松村監物宝筐印塔			堀尾山城内　松村監物	養源寺(東京都)。『島根県史』8※	
438	(寛永10)10.4	1633	細川忠利書状案	(細川忠利)	魚住傳左衛門尉	堀尾忠晴病死。忠晴、石川宗十郎(忠晴娘婿)子への相続を働きかける。手を尽くしたが認められず、家中の知行取は当年の物成を給与する。城受取の城番の情報。	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』11、685号※	浜松から手紙を送ったとある
439	(寛永10).10.17	1633	細川忠興書状(折紙)	宗立(ローマ字青印)	越中	10月4日付書状を拝見し、堀尾忠晴病死を聞いたとの返書	細川家文書。大日本近世史料『細川家史料』5、1150号※	
440	(寛永10頃)		堀尾忠晴画像			堀尾忠晴と松村監物遺像	円成寺蔵(松江市)。(東史模)※	東京大学史料編纂所データベース
441	(寛永10頃)	1633	出雲国太守堀尾山城殿追善独吟百韻	里村昌琢		堀尾忠晴の追善独吟百韻カ	青山記念文庫(篠山市兵庫県立篠山鳳鳴高校)。『国書総目録』※。国文学研究史料館マイクロ	
442	(寛永11).2.13	1634	堀尾家家臣連署願書写	久徳内膳判(花押)、堀尾但馬判(花押)、揖斐伊豆判、前田丹波判、小島隼人判、堀尾大隅判、堀尾左兵衛判、堀尾采女判、堀尾因幡判、堀尾修理判	酒井雅楽頭、土井大炊頭、酒井讃岐守	堀尾家の家名再興について願書を提出する	「堀尾家記録」(松江市)。『新修島根県史』資料編2※	

4) 年未詳

443	(安土桃山期)5.20		堀尾吉晴書状(横切紙)	堀帯刀吉晴(花押)	山宮内		妙覚寺文書(京都市上京区)	東京大学史料編纂所データベース
444	(年未詳).9.14		堀尾吉晴書状	堀帯刀吉晴(花押)	□□法印	「相州文書」甘粕家文書では鎌倉御所御教書、北条氏直印判状などを収録	甘粕小衛門氏蔵文書(神奈川県鎌倉郡大船村)(東史影)	東京大学史料編纂所データベース　(花押は後期のもの)
445	(年未詳).11.28		堀尾吉晴書状	堀帯刀吉晴(花押)	瀧左兵衛		堀江瀧三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
446	(年未詳).12.17		堀尾吉晴書状	吉晴(黒印)	笑庵五郎八	浜松在城の頃カ。笑庵の労苦をねぎらう	円成寺蔵(松江市)。『島根県史』8※	
447	(慶長頃).5.6		豊臣秀頼御内書(折紙)	(黒印)	堀尾帯刀	年頭の祝儀の御礼	酒井家家臣所持文書(東京大学史料編纂所蔵)。『史料編纂所紀要』7、酒井家家臣所持文書2号※	
448	年未詳.10.9		堀尾忠氏書状	忠氏(花押)	蔵人、□□		本法寺文書(京都市上京区)(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
449	(年未詳).4.2		堀尾忠氏書状	堀信濃守忠氏(花押)	瀧豊州		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
450	(年未詳).7.17		堀尾忠氏書状	堀いつも忠氏(花押)	瀧豊		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
451	(年未詳).7.25		堀尾忠氏書状	忠(花押)	豊前		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
452	(年未詳).9.晦		堀尾忠氏書状	忠氏(花押)	瀧□州		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
453	(年未詳).閏11.7		堀尾忠氏書状	堀紀伊守忠氏(花押)	瀧豊州		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
454	(年月未詳)29		堀尾忠氏書状	堀出雲忠氏(花押)	豊州公		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
455	(年未詳).10.21		徳川秀忠書状(切紙)	秀忠(花押)	(堀尾信州カ)	上方の情勢について	酒井家家臣所持文書(東京大学資料編纂所蔵)。『史料編纂所紀要』7、酒井家家臣所持文書3号※	(切封ウハ書)「堀□州様　まいらせ候　武蔵守秀忠」
456	(年未詳).3.21		堀尾忠氏書状	忠氏(花押)	辻角介	河出百兵衛逐電につき辻角介に成敗を命じる	山田善次郎蔵文書。『島根県史』8※。「山田家文書」『旧島根県史編纂資料』	(年未詳、慶長9年以前)
457	(年未詳).2.22		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	(松奥州)	昨日正宗の書状を受取るが、病のため返書が出せず、伊達正宗の御意を得るようにしたいと伝える	大日本古文書『伊達家文書』3、1023※	(切封ウハ書)「松奥州様尊報　堀尾山城守忠晴」
458	(年未詳).霜.朔		堀尾忠晴書状	堀山城忠晴(花押)	土肥防州	音信について謝意を伝える	『黄薇古簡集』巻1、城府1、土肥亘蔵。『岡山県地方史資料叢書』8※	
459	(年未詳).9.27		堀尾忠晴書状	忠□(花押)	(荒尾内匠)	昨晩久徳内膳への書状、雁一羽の増進の礼、宰相様へ宜しくお伝えくださいとの返信を伝える。	『黄薇古簡集』後編。高畠清之進蔵1。『岡山県地方史資料叢書』8※	(奥切封ウハ書)「荒尾内匠殿人々御中　堀山城守忠晴」
460	(年未詳).6.25		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	後藤吉右衛門尉、長谷川加兵衛、平野権次	算用方へ米の大坂での売却と銀子の江戸への運送を指示する。伊豆・采女の帰国について	円成寺蔵(松江市)。『島根県史』8※	「県史」では抄文
461	(年未詳).8.22		堀尾忠晴書状	堀山城守忠晴(花押)	瑞應寺和尚	瑞應寺和尚の消息について返書。上様の関東へ還御を伝える	円成寺蔵(松江市)。『島根県史』8※	
462	(年未詳).霜.15		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	修理□殿	松江の町普請に関わる指示を出す	牛尾伊太郎蔵。『島根県史』8※	
463	(年未詳).正.7		堀尾忠晴書状	山城守忠晴(花押)	国造千家	音信について	千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
464	(年未詳).10.4		堀尾忠晴書状	山城守忠晴(花押)	国造千家	帰国することを伝える	千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
465	(年未詳).3.5		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	加藤大蔵	加藤大蔵との音信について	安来賢吉氏蔵(松江市)。『堀尾氏と松江開府』写真※	
466	(年未詳).9.13		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	(内藤伊賀守)	肴の贈進について　『意宇六社文書』では「元和カ」とある	神魂神社　秋上家文書　(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書号248号※	(表書)「〆内藤伊賀守様人々御中、堀尾山城守忠晴」
467	(寛永年間)5.21	1627-33	堀尾忠晴書状	堀尾山城守忠晴(花押)	俊岩院侍者	長松院への佛事執行に謝意を伝える	春光院蔵(京都市)。『松江市歴史叢書』1、写真※	
468	(年未詳).7.9		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	(松平右衛門大夫)	将軍の病について連絡をうけ、帰府していたが参りたいと伺う	早稲田大学荻野研究室蔵。稲葉文書『早稲田大学所蔵荻野研究室収集』下、975号※	(捻封うわ書)「松平右衛門大夫様人々御中、堀尾山城守忠晴」
469	(年未詳).卯.13		堀尾忠晴書状	堀尾山城守忠晴(花押)	大助左		野中完一氏所蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
470	(年未詳).5.14		堀尾忠晴書状	堀山城守忠晴(花押)	瀧豊州		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
471	年未詳.6.10		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)	瀧川豊前守		堀江滝三郎氏蔵文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
472	年未詳.7.9		堀尾忠晴書状	忠晴(花押)			長野文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
473	年未詳.2.22		堀尾忠晴書状				松本文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
474	年未詳.5.10		堀尾忠晴書状				三沢文書(東史影)	東京大学史料編纂所データベース
475	(年未詳).7.3		堀尾忠晴定書写	忠晴判	堀尾大隅、山路所左衛門、木戸十乗坊、小池外記、今村右馬丞、萩野彦之丞、六浦兵太夫、高松内匠、久徳勘解由	忠晴、5箇条の定を家臣に出す	堀尾文書(松江市)。「堀尾家記録」『新修島根県史』資料編2※	
476	(慶長頃).12.22		豊臣秀頼黒印状	(黒印)	堀尾三之介	呉服献上の礼状	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵)	『国書総目録』堀尾文書
477	年未詳.10.12		滝川忠致他連署書状	滝川忠致、他5名	堀三之介	前田十左衛門等の家臣の名、当城二の丸お手前普請について	堀尾文書(お茶の水図書館　成簣堂文庫蔵文書)	『国書総目録』堀尾文書
478	年未詳.4		堀尾山城守母公書状				神門寺文書(出雲市)。(東史影)※	東京大学史料編纂所データベース
479	年未詳2.3		落合貞親書状(折紙)	落蔵人貞親	大庭別火	速玉社祭礼について明日出頭をお願いする	神魂神社　秋上家文書　(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書　223号※	
480	(慶長頃).卯.20	1601-09	堀尾宗光書状	掃部宗光(花押)	中原神主式部	愛宕宮神主の安堵	阿羅波比神社文書(松江市)。(東史影)※	宗光の没年慶長13年3月と14年3月の2説ある
481	年未詳.9.6		小野齊書状	小野齊(花押)	元政	小野元政の手紙を受けた返信。杵築御崎境目の儀について	小野男爵家文書(出雲市大社町)。『島根県史』8※	
482	年未詳.9.23		堀尾宮内・小鴨伊豫連署書状	宮内一信(花押)、伊豫正和(花押)	村尾七郎右衛門	幕島松伐採について	小野家文書1(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
483	年未詳.10.23		村尾七郎右衛門書状	村尾七郎右衛門正(花押)	古九左	幕島松伐採について村尾より書状	小野家文書1(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
484	年月未詳.28		堀尾家内河内某書状	‥(花押)		大庭の知行割で給人について別火に迷惑をかけたことを伝える	神魂神社　秋上家文書　(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書250号※	(端裏書)「大庭知行わり之時　(堀尾殿内)河内殿御状」
485	年未詳.正.24		堀尾家臣団禁制　「大社御置目之事」	堀尾頼母助正秀(花押)、落合蔵人貞親(花押)	本願泉養、別火民部少輔	堀尾頼母・落合蔵人、別火民部少輔と本願泉養へ3箇条の大社への置目を伝える。	別火盛一蔵文書(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	千家男爵家文書5に写

no	年　号	西暦	文書名	発給者	受給者	内容	出典	備考
486	年未詳.6.27		下方源左衛門書状(折紙)	下源左衛門(花押)	浄音寺、別火	郡役綿の事について、桑漆の木を植える触れがあったことを伝える	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書236号※	
487	年未詳.9.11		下方源左衛門書状(折紙)	下方源左衛門員清(花押)	別火右近	伊弉諾・伊弉冊両社へ御供米、宮内殿御切手6石の内3石をいち方へ渡すよう蔵人から指示があった	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書239号※	
488	年未詳		たかくらいち巫女非行書出			たかくらいち私曲の事、慶長11年頃の出来事も記している。	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書244号※	
489	年未詳.7.28		秋上神主訴状案	大庭神主	おきやくちん、いせとのさま	御神領のことについて訴状。忠晴元服以前か	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『意宇六社文書』秋上家文書249号※	
490	年未詳.5.11		野々村三郎左衛門尉書状写	野々村三郎左衛門尉在判	秋左[上カ]	大庭神田を調査し無役であることを伝える	神魂神社秋上家文書(松江市大庭町)。『神魂社領文書寫(巻子)』『意宇六社文書』秋上家文書466号※	「堀尾出雲様御奉行」
491	年未詳.11.20		五郎兵衛書状写	五郎兵衛判	空清、右近、久左衛門、三郎右衛門	空清等からの書状の返事、御鷹の犬について	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『神魂社領文書寫(巻子)』『意宇六社文書』秋上家文書466号※	「堀尾民部殿御家領」
492	年未詳.2.3		藤蔵人禁制写	藤蔵人　判	大庭別火	大庭宮山に関する	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『古文書寫(巻子)』『意宇六社文書』秋上家文書467号※	「堀尾帯刀様出雲様御仕置」
493	年未詳.7.24		宮内書状写	宮内在判	大庭別火	大庭別火への返書	神魂神社　秋上家文書(松江市大庭町)。『古文書寫(巻子)』『意宇六社文書』秋上家文書467号※	「堀尾民部様御状」
494	年未詳.2.6		堀尾宮内少輔一信書状	堀尾宮内少輔一信(花押)	国□□□□	大社遷宮に関わる	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
495	年未詳.6.26		堀尾宮内少輔一信書状	堀尾宮内少輔一信(花押)	国造千家	大社遷宮に関わる	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
496	年未詳.7.28		小近江守書状	小近江守貞温(花押)	国造千家	大社遷宮造営に関わる	千家男爵家文書4(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
497	年未詳.8.12		堀尾高成書状	堀尾左衛門尉高成(花押)	熊野別火殿	かたいろ壱端、からしまーたんを送り、祈祷を依頼する。	熊野神社文書(松江市熊野町)。『意宇六社文書』熊野神社文書11号※	堀尾但馬の初出文書カ
498	年未詳.2.17		堀尾家奉行人連署書状(折紙)	吉川若狭守貞恒(花押)、堀尾孫兵衛氏親(花押)、小嶋伊予守正利(花押)、堀尾頼母助正家(花押)	国造北嶋	園村妙見社遷宮執行に関して波多野楽太夫と御崎との間の相論について、堀尾家奉行より国造北島広孝へ問い合わせ	北島家蔵。『出雲國造家文書』214※	『出雲國造家文書』では寛永8・9年頃とあるが、奉行人は、吉晴時代に活躍している。慶長末年から元和のころか
499	年未詳.10.26		布施又兵衛書状カ	堀尾但馬内布施又兵衛	野崎十兵衛	長松院様領分の神門郡塩冶村を塩冶八幡宮へ寄進すること経緯を記す	秦清一蔵(出雲市)。秦清一『塩冶旧記』※	
500	年未詳.5.24		たしま消息	たしま(花押)	いぎなぎいち	御局様より御初穂の事	真名井神社(松江市)。『八束郡誌』伊弉諾神社文書5号※	
501	(年未詳).午6.10		草和太左衛門書状	草和太左衛門(花押)	正林寺	正林寺が去々辰年に願い出の空き地について永代免地を認める	大庭村正林寺関係文書(松江市大庭町)。『八束郡誌』大庭村正林寺関係文書2号※	
502	年未詳.極.8		堀尾但馬他3名連署書状	堀但馬(花押)、久内膳(花押)、村七郎右衛門(花押)、掛伊豆(花押)	湯之介	玉造温泉湯之介方での忠晴相撲上覧について忠晴の機嫌が良いこと伝える	長谷川良之介蔵(松江市玉湯町)。『島根県史』8※	
503	年未詳.10.10		村尾正以書状	村尾七郎右衛門(花押)	古九左	杵築との境目に関わる	日御碕神社蔵文書1『旧島根県史編纂資料』※	
504	(年未詳).3.10		堀尾一信・小嶋正和連署書状	堀尾宮内少輔一信(花押)、小嶋伊豫守正和(花押)	古庄九左衛門尉	黒田浦の鯨寄について提出した落合蔵人の判物に従うよう指示する	日御碕神社蔵文書4『旧島根県史編纂資料』※	
505	(年未詳).9.朔		堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	国造千家	忠晴様の当月の祈祷について書状	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
506	(年未詳).3.14		堀尾采女書状	堀尾采女(花押)	国造千家	鶯大明神えの祈祷に米2石を送ること	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
507	(年未詳).霜.19		堀尾久助書状	堀尾久助□□(花押)	国造千家	神魂社新嘗祭について	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
508	(年未詳).6.12		前田丹波書状	前田丹波□(花押)	国造	祈祷に関する内容か	千家男爵家文書5(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
509	(年未詳).9.18		国造千家書状	国造千家尊□(花押)	掃斐伊豆守	堀尾家臣、久徳源左衛門、堀尾孫右衛門との交渉について	千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
510	(年未詳).卯.25		堀尾采女・堀尾但馬連署書状	堀尾采女(花押)、堀尾但馬(花押)	国造千家	神魂社についての申出の返書	千家男爵家文書6(出雲市大社町)。『旧島根県史編纂資料』※	
511	(年未詳).卯.26		村尾正以・掃斐高清連署書状	掃斐伊豆高清(花押)、村尾越中正以(花押)	村松三蔵、熊野別火	熊野別火について	熊野季若蔵文書。『旧島根県史編纂資料』※	
512	(年未詳)戌3.19		雲伯境目證文写	郡代松山七左衛門、代官稲垣吉右衛門、森山平右衛門、宇部尾三郎右衛門	外江村庄屋八郎左衛門、同村同與三右衛門、竹内村庄屋善右衛門、道野村庄屋市郎兵衛、境江村庄屋清兵衛	出雲・伯耆の境目の3箇条を出す。『伯耆志』所収文書。慶長二年の年号が付くが、堀尾忠晴期の文書である。『島根県史』では慶長15年か元和8年に比定する。	『伯耆志』巻6、會見郡6、會見郡中野村。『島根県史』8※。『因伯叢書』4	
513	(年未詳)		一畑寺造営勧進米覚書			前田丹波・堀尾頼母・神保清十郎・堀尾九十郎・野村孫太郎・大奈正右衛門・三宅加兵衛・堀尾但馬・吉川若狭・堀尾左兵衛・長谷川加兵衛・宇津尾九左衛門等一畑寺造営の勧進に寄進する	一畑寺文書(出雲市)。『一畑寺古文書関係資料』34号※	
514	(年未詳)		大般若経			堀尾采女寄進	報恩寺蔵(松江市玉湯町)。『報恩寺と初代松江藩主堀尾氏』展示目録※。『雲陽誌』。	

(ふくい　まさゆき)